

地方史情報

107
2012年2月

加藤清正公信仰

福西 大輔

戦国武将である加藤清正（1562-1611）を神として祀る信仰・加藤清正公信仰は、清正公信仰ともいわれる。加藤清正は歴史上の人物であると同時に物語や伝説上の登場人物でもあり、信仰の対象でもある。この清正公信仰を通して、本研究では民俗と歴史との関係を考えながら、日本人の「人を神に祀る習俗」は近世・近代といかに変遷していったのか、日本人の神概念の再検討をしていきたい。その中で清正公信仰という一地域の信仰がどのようにして全国に広がっていったのか分析をしながら、「中央」と「地方」との関わりが人々の生活にどのような影響を与えたのかについて考える。（中略）こうした加藤清正の人気は時代を経て、ずっと変わらないものであったのか、清正公信仰は変化しなかったのかという疑問が浮かび上がる。熊本市内だけを考えても加藤清正が城下町をつくって以来、加藤家の改易、細川家による統治、明治維新後の近代国家の治世といった権力者や支配体系の変化や、西南戦争の戦火、第二次大戦の空襲、白川水害といったものによる物理的な打撃も受けてきた。その中で、人々の心情や生活も移り変わり、近代化にともなって民俗も変貌してきた。それに合わせて、熊本の人々の加藤清正への思いも変化してきたと思われる。（中略）

清正公信仰は「人を神に祀る習俗」（人神信仰）であり、この祖霊信仰とは対立する側面を持つものである。祖霊は個性を失って神になったものであるが「人を神に祀る習俗」における神・人が神になったもの（人神）は、死して年月を経てもなお生前の個性（歴史）を持ち続けているものである。それゆえに人神信仰ともいわれる。言い換えれば、生前の個性を持ちながら神になったという点が大きな特徴の一つである。そのため「人を神に祀る習俗」の研究は祖霊信仰論を中心とした柳田國男の歴史観とは異なったものを導く可能性がある。

こうしたことをふまえ、「近世」から「近代」における「人を神に祀る習俗」の流れを押さえながら、清正公信仰の歴史的変遷や広がりを検討し、「中央」と「地方」との関係に注目しながら日本人の神概念を考えていきたい。

（福西大輔著『加藤清正公信仰』、2012.1、小社刊「序」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西7丁目1-1 コーポ望102 渡辺隆方／〒062-0007札幌市豊平区美園七条1丁目3-1-507 高木崇世芝方 TEL011-821-2831 年5000円

◇42 2011.9 B5 10p

第15回アイヌ語地名研究大会終わる 研究発表「19世紀アイヌ語文献」石原誠氏、「移動する地名」谷本見久氏／探訪 北大周辺のアイヌ語地名 高橋 基
平成23年度総会の開催 アンケートの集約／東日本大震災の被災お見舞い申し上げます
「津軽平野に見られる蝦夷系由来の不思議な地名」への質問 平 隆一
ありし日のアイヌ地 渡辺 隆
新しい会員を紹介します／『アイヌ語地名研究 14号』の原稿募集について
図書・会誌・会報・論文などの紹介 図書
北海道地名めぐり湯浴み旅 渡辺 隆
会誌 くしろ地名考 38号、地名談話室 26・27合併号、れら 東北 17号

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11
TEL011-761-8014 1985年創刊
www.2.ocn.ne.jp/~history/

◇50 2011.10 B5 65p 1000円

《北海道屯田倶楽部結成30周年記念》

北海道屯田倶楽部 小林博明名誉

会長の逝去を悼んで

私の啓発活動

一新しい世界に触れて 後藤 良二

屯田兵列伝(5) 特別編 屯田倶楽部

発展に貢献した一北海道屯田倶楽部名誉会長 故小林博明氏

若林 滋

屯田兵村公有地財産をめぐって(8)

定着率が高く、長期保有した南

・北湧別兵村 河野 民雄

開港直後の箱館に乗り込み奮闘—

エリシャ・E・ライス(アメリカ)

奥田 静夫

ホームページの立上げにあたって

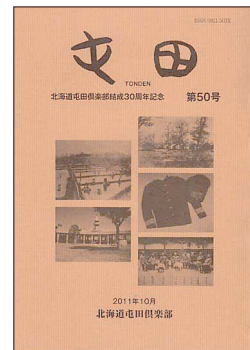
中神 哲二

平成23年度北海道屯田倶楽部定期

総会報告

北海道屯田倶楽部結成30周年記念

会報「屯田」総目次(創刊号—



50号)

北海道屯田倶楽部会員 著作一覧

*北海道屯田倶楽部は、「北海道屯田兵制度及びその史実への認識を深め、その偉業を後に伝え、併せて会員相互の交流親睦をはかり、もって北海道の文化的進展に貢献する」ことを目的に、1981年5月に設立され、昨年30周年を迎えた。設立に先立つ同年4月に倶楽部結成に向けて「北海道屯田倶楽部ニュース」を創刊。6号を経て85年からは改めて会報「屯田」を創刊し、第50号を倶楽部結成30周年記念号として刊行する運びとなった。この間、中学校での歴史解説などの啓蒙事業、歴史写真集『屯田兵』や『屯田兵名簿』の刊行、道内各地の屯田兵屋と屯田兵村の北海道遺産登録(2004年選定)に向けての取り組みなど、地道な活動を続け、そうした功績により、2005年度には北海道文化財保護協会から文化財保護功労者表彰を受賞している。そうした折、昨年7月に、祖父を福岡県出身新琴似屯田兵にもち、日本興業株式会社代表取締役として同倶楽部を物心両面にわたって支援してきた小林博明同倶楽部二代目会長、現名誉会長(85歳)が逝去された。同氏は最後の仕事として37か兵村を巡回し、『北海道屯田兵全集』の刊行を手掛けていたとのことであり、逝去は惜しまれるが、是非その遺志を継いでいただきたいものである。

屯田兵は明治8年に入植したものであるが、子孫は4世、5世に入っている。そうした時代状況を踏まえて、ホームページが立ち上げられた。歴史、各兵村、関連法規、倶楽部のページ、関係資料館、関係機関へのリンク、その他の豊富なメニューになっており、活用が期待される。

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目

かでる2・7ビル9階 TEL011-231-4111

www.10.ocn.ne.jp/~bunkazai/

◇327 2011.9 B4 4p

北海道文化財保護協会 創立50周

年記念式典

ともに新しい半世への一步を 舟山 廣治

北海道文化財保護強調月間 10月

8日～11月7日／根室で夏のサン

マ

地域に息づく 函館圏文化財散歩

平成23年7月8日～10日 ト部 信臣

感動そして新発見の文化財散歩 遠藤紘之助

七飯町歴史館 山田 央

「梅村庭園」八雲指定文化財 柴田 信一

常呂遺跡の仮指定の経緯 山田 文明

下川町の郷土資料展示保存施設

「札天山収蔵館」の鉱業林業史資

料 山田 大隆

子どもの文化財愛護活動推進事業

タカハシホタテ化石採集 茂野 浩一

読者の声 地域の活動・読者の声

／会員の書籍紹介

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会

〒020-0102岩手県盛岡市上田字松屋敷34

岩手県立博物館内 TEL019-661-9688

1970年創刊

◇245 2011.9 A4 8p

盛岡市の文化財行政 千葉 仁一

再挑戦—「平泉」世界遺産登録の

実現 中村 英俊

奥州市の平泉関連遺跡を考える 小野寺弘行

骨寺荘園遺跡への思い

—平泉世界遺産登録に寄せて 千田 昭彦

自粛の中でのまつり 古水 力

文化財の救出現場から 斎藤 邦雄

続平泉志(9) 医王山毛越寺(中) 及川 和哉

◆**せんだい市史通信**

仙台市博物館 市史編さん室
〒980-0862仙台市青葉区川内26
TEL022-225-3074 1999年創刊
www.city.sendai.jp/Kyouiku/Museum/

◇24 2011.1 A4 4p

せんだい今昔 “和風建築”の誕生
白菜王国 仙台白菜、東京へ行く
／仙台白菜、全国を席卷／仙台
白菜、王座を堅守／仙台白菜、
その凋落と復活

施設探訪 仙台市電保存館

仙台の歴史を掘り下げる

「仙台市史」好評発売中！

◇25 2011.8 A4 4p

モノがたり仙台

仙台式運搬車（仙台自転車）

木と生きる－仙台の林業事情 政

宗の植林／山守の仕事／城下の
燃料・流木（ながしぎ）／森林鉄
道

施設探訪 東北福祉大学・森林交
流ステーション

仙台市史 最新刊好評発売中！

第29回配本 通史編8 現代1

◆**秋田歴研協会誌**

秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-1341秋田市雄和新波本屋敷90 工藤
一紘方 TEL018-887-2007 1996年創刊
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html

◇47 2011.9 B5 20p

《特集 春の歴史フォーラム

久保田城下のくらし・文化(パートⅢ)》

菅江真澄の記録した久保田城下の

暮らし－民俗行事を中心として

田口 昌樹

秋田藩所預城下町主従制にみる城

下町 高橋 雄七
フォーラムの成果と課題 半田 和彦
用語解説 向高(むかいだか)／御
川・内川(おんかわ・うちかわ)

半田 和彦

歴史情報 研究ノート 民謡研究
家、藤井清水が紹介した秋田民
謡 麻生 正秋
文献情報／催しもの情報

◆**菅江真澄研究 菅江真澄研究会**

〒011-0909秋田市寺内児桜1-5-55
古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
1981年創刊
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html

◇74 2011.8 B5 16p

平成23年度総会開催

足跡探訪会を実施一大館市に真澄

の足跡を訪ねる 田口 久義

真澄短信

図書紹介 『菅江真澄と旅する』

安永俊和著、新装版『菅江真澄

の旅と日記』内田武志著、『菅

江真澄の見た森古』福岡龍太郎

著 田口 昌樹

真澄の一枚(6)

諏訪神社、酉の祭り(2) 菊地 利雄

菅江真澄と蒼弥白

平成23年度総会の報告

◆**季刊東北学**

東北芸術工科大学東北文化研究センター
(発売：柏書房)
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 年10000円 2004年創刊
gs.tuad.ac.jp/tobunken/

◇28 2011.8 A5 332p 1905円

《特集 地震・津波・原発－東日本大震災》

座談 大震災・原発事故と地域社
会－課題に向き合う議論の場を
どうつくるか

澤田哲生／清水亮／田口洋美

津波と民俗学 藤井 弘章

東日本大震災と阪神大震災の与え
た課題－神戸から東北への声援

森栗 茂一

三陸の漁村の記憶 森本 孝

貞観津波と大地動乱の九世紀 保立 道久

東日本大震災と九世紀の地震 寒川 旭

明応地震と庄内沖地震の津波被害

矢田 俊文

仙台平野に来襲した三回の巨大津

波－地層から復元される過去の

津波被害 松本 秀明

寛保の松前大津波－被害と記憶 菊池 勇夫

東北地方太平洋沖地震の地核変動

と変動地形 渡辺 満久

災害コミュニケーション－災害ボ

ランティア交流支援の現場から

山下 祐介

東北発の震災論へ－コミュニティ

交流支援の現場から 山下 祐介

震災地復興の主体と条件－生活再

建とコミュニティづくりに向け

ての覚書 大矢根 淳

エッセイ 流された漁村に立つ 川島 秀一

ルポ ハナドリとコウナゴダカリ

－「原発銀座」のなかで生きる

ということ 金田 久璋

写 真

三陸海岸の津波の碑 野添 憲治

消せない記憶 荒川 健一

原発事故の体験と記録

－三か月を経ての覚え書き 大山 孝正

自然災害と柳田国男 石井 正己

予想しなかった津波－宮城県亘

理町吉田・野地区での出来事

七海 雅人

杞憂が杞憂でなくなった日 廣瀬 玲子

ルポ・被災地若者物語 岩崎 孝正

アジアの風のなかで(8)

「つなぐ」ということ 木村 文

島からのことづて(4) 原発なし

で暮らしたい－瀬戸内海・祝島

の人々 安溪遊地／安溪貴子

東シナ海の古層(8) 入りこみ人

たち－〈平島語字典〉から 稲垣 尚友

済州島の民俗(28) ある農夫が語

る伝統農法(2) 一生業民俗論

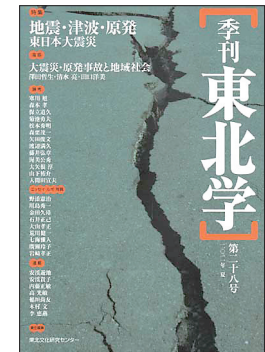
(21) 高 光敏／李惠燕

モノからみる韓国(11) ソナム 李 惠燕

連載・写真曼荼羅(11) 災害列島

ニッポン－東文研・絵葉書アー

カイブスより 内藤 正敏



＊本号と次号第29号(2011.10)で連続して「東日本大震災」特集を組む。本号は約270頁、第29号は約190頁、合わせて450頁を超える浩瀚な大特集である。座談、論考、エッセイ、ルポールタージュ、写真からなる。執筆者は日本中世史、考古学、環境民俗学、海洋民俗学、コミュニティ論、都市社会学、日本口承文芸学、減災人間科学、地形論、地理学、原子炉工学、写真家、ルポライター、地域活動

家、学芸員など多岐に亘り、延べ50名に及ぶ。本号のテーマは「地震・津波・原発」で、貞観大津波から今回の災害に至るまでを振り返る。第29号は「東北の海」をテーマに、東北の海に生きてきた人びとの生活や心を育んできた歴史と文化を考える。両号に共通するのは、そこにある自然を引き受けその場に生きて行こうとする東北の人びととともにある学問を目指さなければならないとの視点である。

ところで、今次の災害において世界中から膨大な支援物資と義捐金が寄せられた。政府の補助金制度も作られた。しかし、それらが生きた形で被災者に渡らず、十分に活用されずにいることが伝えられている。虚しいことである。また、大勢のボランティアが駆けつけて汗を流した。被災地を歩くと、それに感謝する住民の書き付を目にすることができる。しかし、一方で思うように機能しなかったり、混乱が生じていることも聞えてくる。渥美公秀氏はそれを、災害ボランティア活動にマニュアルや標準化によって秩序だてて行うべきだとする規範を形成する強力な流れ、即ち「秩序化のドライブ」が作用した結果だと指摘する。それを打破するには、第一に、被災者の傍らにいたることを大切に、事態に対して臨機応変に対応して制度や政策から漏れてしまった人々に焦点を合わせることを通して、社会に新たな選択肢を提示していくこと、第二に、復興過程において、その地域の歴史や文化を見直すことで住民の復興に対する意識を高め場合があることを認識し、ボランティアも地域文化・歴史を学び、被災地住民とのコミュニケーションを成立させなければならないと述べる。重要なことである。

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299

◇184 2011.8 B5 10p
従軍医師親子の見た戊辰北越戦争
須崎 寛二
「寺社奉行所」と「社寺奉行所」 須崎 寛二
宮内熊野神社おぼえがき(5)
8 獅子舞禁止事件 須崎 寛二
米沢藩の寛政改革と北条郷
―第206回学習会から
◇185 2011.10 B5 10p
私の八月十五日 須崎 寛二
南陽市内の文学碑を巡る 須崎 寛二
赤湯村主殿の「肝煎免」について 須崎 寛二
宮内熊野神社おぼえがき(6)
9 鐘楼の再建 須崎 寛二
米沢藩の寛政改革と北条郷(後)
―第207回学習会
◆まんだら 東北文化友の会会報
東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 年10000円
1999年創刊 gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇48 2011.8 B5 48p
《特集 世界遺産・平泉を語る》
平泉の仏国土(浄土)思想
八重樫忠郎／入間田宣夫
文化財レスキューへの取り組み
藤原徹／米村祥央
平成23年度文部科学省オープン・
リサーチ・センター整備事業
「東北地方における環境・生
業・技術に関する歴史動態的
総合研究」
公開講座 極東ロシアと東北地
方との相対研究の可能性
佐々木史郎／田口洋美／福田正宏
東北文化研究センター公開講座

自然災害と縄文人―自然への
祈り 安斎 正人
book review
マタギ自らが“マタギ”を語る 田口 洋美
縄文人のころ(1)
動物と縄文人 安斎 正人
池上冬樹の東北文学雑感(8) 戦
時下の時代的気分と児童文学 池上 冬樹
古文書解説405号室(4) 私が干す
べきか、彼が干すべきか、それ
が問題だ 中村 只吾
リレーエッセイ「東北を撮る」(6)
鮭川歌舞伎 腰高 直樹
地域誌だより (21)
大変な時代、賢明な縄文人に学
ぶ 杉山 陸子
被災地を訪ねる 滝沢真喜子
『仙台学』第12号刊行 千葉 由香
未来への伝承に向けて 菅家 博昭
表紙を飾るアーティストたち
井上和則

関 東

◆史 境 歴史人類学会
〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学大学院人文社会科学研究科内
TEL029-853-4403 1980年創刊
◇63 2011.9 A5 101p 2000円
彈正台と畿内
―律令国家監察制度の一考察 黒須 利夫
1920～30年代における「文化主義」
と図書館―姉崎正治による東京
帝国大学附属図書館再建をめぐ
って 長尾 宗典
リタンの童子擁立と青海ホシュ
ー部内の権力構造の変容 岩田 啓介
ローマ帝国における「不敗の太陽

神(Sol Invictus)」崇拜 井上 文則
1910年代の伝説研究と高木敏雄 鈴木 寛之
研究ノート 「武蔵国鶴見寺尾郷
絵図」の副本とその作成過程 武田周一郎
書評 ベル・フックス著 大類久
恵監訳 柳沢圭子訳『アメリカ
黒人女性とフェミニズム―ベ
ル・フックスの「私は女ではな
いの?」』 佐藤千登勢
◆史 談 安蘇史談会
〒327-0004栃木県佐野市赤坂町229
大高八三郎方 TEL0283-24-3232
年2000円 1985年創刊
◇27 2011.9 A4 170p
巻頭言 3.11の夏 京谷 博次
特集 秋山川水系に架かる橋梁
齊盟橋事始 京谷 博次
鷹部屋橋について 海老原脩治
白河関(律令治世から歌枕・俳諧
へと) 関野吉之助
鐘楼門の記憶 川田 春樹
佐野常民の唐澤山神社創建への道
程(中編2) 佐賀藩精煉方設置
の頃 大高八三郎
父の形見の日本刀「実は昭和新刀」
の行方を見極めて 黒田 哲哉
徳川幕府の鉄炮改めについて 海老原脩治
小林眞齋先生のこと 廣木 雅子
藤原秀郷公ゆかりの神社 大森千哥子
奥州に小野寺氏の興亡の地を訪ね
る 篠崎 澄子
初詣見学会に参加して(東京本郷、
お茶の水界限等) 水落 洋美
消えた集落、消え行く集落 北園 清信
史料紹介 一村に二〇給の下野国
安蘇郡赤見村 京谷 博次
特別寄稿 第26回安蘇の風土と歴

史講座講師
坂東武者・平将門 船生 史郎
秀郷流岩崎氏の系譜を辿る 岩崎 昭行
永正4年足利高氏(高基)幻の佐
野攻め—第一次古河公方足利
利政氏・高氏(高基)抗争によ
せて 鴨志田智啓
平成22年度 安蘇史談会日誌／会
員情報

◆歴史と文化 栃木県歴史文化研究会
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2 栃木県
立博物館内 TEL028-634-1313 年4000円
1992年創刊

◇20 2011.8 A4 87p 2000円
巻頭言 20周年・20号発刊を迎え
ての雑感 千田 孝明
創立20周年にあたって

歴代常任委員長の言葉
それは50通の呼びかけ文から
始まった 阿部 昭
創立の頃 柏村 祐司
三代目委員長として 大嶽 浩良
20周年にあたっての思い出
ありがとう「古墳を歩く会」大出 雪夫
これからの栃木県歴史文化研
究会に思う 金井 忠夫

蒲生君平の生涯と『山陵志』撰述
の意義 阿部 邦男
足利樺崎寺赤御堂考 千田 孝明
研究ノート 近世下野国における
道徳的視点からの「間引き防止」
教化—その根本にある思想の探
究 中田 太郎
書 評

松本一夫著『下野中世史の世界』
月井 剛
久野俊彦著『絵解きと縁起のフ

ォークロア』 宮田 妙子
活動記録 栃木県歴史文化研究会
活動の記録
各種情報欄 文献情報(図書一覧
・研究論文一覧)／平成22年度
栃木県県内発掘調査情報／栃木
県内所在文化財新規指定等の状
況(平成22年度)
栃木県歴史文化研究会20年の記録
各大会の記念講演・研究報告等
一覧／『歴史と文化』総目次

◆群馬県教育史研究懇談会会報
〒370-0873群馬県高崎市下豊岡町328
森田秀策方 TEL027-322-0408
年1000円 1975年創刊

◇35 2011.8 A4 32p
巻頭言
桐生市「教育資料室だより」 森田 秀策
特別寄稿 群馬の算額について 大竹 茂雄

《特集 学校の統廃合のあゆみⅡ》
前橋市立第二中学校と第四中学校
の統合—「みずき中学校」の誕
生 石田 和男

倉渕東小・中央小・川浦小の統廃
合—三小学校の沿革と統廃合の
経過 市川 光一
甘楽町立第三中学校の開校から廃
校まで 新井 健

甘楽町立第三中学校の第二中学校
への統合 今井 規雄
安中市立上後閑小学校の開校 中嶋昇太郎

みなかみ町立幸知小学校の水上小
学校への統合 藤井 茂樹
図書紹介

「二校の五十年史」を読む—大河
原小学校と藤岡第二小学校の
あゆみ 森田 秀策

松田猛編『川浦小の歩みをたど
る—当直日誌から—』 森田 秀策
高崎市立倉渕東・中央・川浦小
学校編『倉渕町三小学校の歩
み』 森田 秀策
教育情報

◆群馬県立文書館だより
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
TEL027-221-2346
www.archives.pref.gunma.jp

◇48 2011.3 A4 8p
国重要文化財「群馬県行政文書」
「群馬県行政文書」の概要
ふるさと再発見講座 6月16日

吉祥寺(川場村)「利根荘の古
刹」岡部央／9月15日 東善寺
(高崎市)「小栗上野介」村上泰
賢／12月4日 大信寺(高崎市)
「駿河大納言」安藤綾信

新たな収蔵した行政文書／新たに
収蔵された古文書／新たに閲覧
できる古文書
群馬県行政文書国重要文化財指定
記念特別展「県庁の今から過去
をさぐる」開催報告

平成22年度文書館収蔵資料展1
街道をいきかう人々と宿場のく
らし—沼田街道と森下宿を中心
に／平成22年度収蔵資料展2
県庁の今から過去をさぐる／ぐ
んま史料研究講座—よみがえる
史料の世界Ⅱ

◆上州文化 群馬県教育文化事業団
〒371-0801群馬県前橋市文京町2-20-22
TEL027-224-3960 1980年創刊
www.gunmabunkazigyodan.or.jp

◇127 2011.8 A4 14p
巻頭言 大澤 正明
世界に二つの縁切寺 井上ひさし
『東慶寺花だより』を読む(2) 高木 侃
上野東歌探訪 北川 和秀
群馬県教育文化事業団
INFORMATION
地域文化をつなぐ つまごい 宮崎 英夫
陶芸の魅力 本田 正
カフェの隅から 軽やかな風 竹田 朋子

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4
1979年創刊

◇127 2011.9 B5 4p
創立30周年記念シンポジウムを終
えて
シンポジウムに参加して 芳賀 和樹
歴史・民俗交流研究への期待 斎藤 弘美
2011年度総会の記録／会員異動

◆日本の石仏
日本石仏協会(発売:青娥書房)
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊
www.l.pbc.ne.jp/users/sekibutu/

◇139 2011.9 A5 80p 2100円
巻頭随想 猛暑・災害・混迷の三
重苦のなかで 坂口 和子
《特集 石像「仁王」》

国東半島の石造仁王像と石工の系
譜(上) 渡辺 文雄
佐賀塩田の三仁王像にみる肥前石
工の表現技術 筒井 隆義
東信濃の仁王像 岡村 知彦
仁王石像雑記 石川 博司
庚申仁王 中上 敬一
ふるさと国東半島の仁王に会いに

遠藤 康子
石仏論考
出羽山形の仁王塔と種子(梵字)
加藤 和徳
竺園寺の字賀神をめぐって 殿南 直也
石仏エッセイ
こどものころの記憶を辿って 中野 高通
名号塔の知識(7) 岡村 庄造
「石」を知る(29) 小松 光衛
石燈籠入門(49) 嘉津山 清
石仏写真と私(29) 杉本 康希
あ・ら・か・る・と一私の石仏案内 門間勇／町田茂
第89回石仏見学会報告
新宿区早稲田周辺の石仏 中森 勝之
海外石仏研修報告 中国・河北省
と山西省の石窟をめぐる旅 中森 勝之
◆ぶい&ぶい 無為無為 日本史史料研究会
〒350-1321埼玉県狭山市上広瀬860 武蔵
野学院大学国際コミュニケーション学部
神野潔研究室 TEL04-2954-6131 2008年創
刊 www17.plala.or.jp/t-ikoma/
◇21 2011.8 A5 28p
寧波阿育王寺のウナギ一日宋交流
と『護塔靈鰻菩薩伝』 大塚 紀弘
若狭国太良荘給主「竹向御方」小
考 鈴木 由美
コラム 土地の記憶とその由来 中島 圭一
◆富士山文化研究会会報
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1
中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年4000円
◇33 2011.9 B5 8p
平成23年度総会報告
小林秀樹君を叱る 中嶋 信彰
第4回見学会の報告
富士山文献紹介 MARUBI 富

士吉田歴史民俗博物館だより／
富士の女神のヒミツ／扶桑No
471／神の光／神社報／霊峰富
士／裾野市立富士山資料館資料
集 富士山須山口登山道調査報
告書／富士信仰と神祇夜姫一そ
の成立と終焉／幕末期不二道信
仰関係資料 不二道願立御札に
付御答書／角行系富士信仰・独
走と盛衰の宗教／富士山と女人
禁制／日本近世の宗教と社会／
六所家総合調査だより
◆かつしか台地 野田地方史懇話会
〒270-0234千葉県野田市日の出町8-4
南川好玄方 TEL04-7129-5429
年3000円 1990年創刊
◇42 2011.9 A4 20p
平成23年度総会記念講演 間引き
絵馬とは一堤台子育て地藏尊の
間引き絵馬を中心に 萩原 法子
会長を囲んで「イヌと遺跡」(縄
文～古墳時代) 下津谷達男
史跡探訪 時代を彷彿させる徳川
ゆかりの地「湯島・小石川」を
訪ねる 高橋 甫
火打石 船形香取神社「オゼンマ
イ」の雑感 瀬能 建夫
史跡探訪 利根川流域の無形民俗
文化財を追って 龍ヶ崎撞舞を
観に行く 勝田 武彦
旅日記の解説一刊行によせて(創
立20周年記念)『伊勢・西国巡
礼旅日記』を読む 木原 徹也
◇42別冊 2011.9 A4 10p
郷土史講座(於 北部公民館 平
成22年6月26日) 明治時代 野

田醤油の発展 講師・田中則雄
◆明日を拓く 東日本部落解放研究所
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1861 1993年創刊
◇90 (37-5) 2011.3 A5 116p 1000円
《特集 あらためて、差別をなくし、社会を
変える運動を手探りする》
特集の趣旨と二つの座談会につい
て 編集部
座談会 狭山事件・狭山闘争とは
一部落の「内部」と「外部」の
連携による反差別闘争
高岩昌興／平田純博／鈴木
慰／山本智啓／永瀬正臣／
司会 吉田勉・藤沢靖輔
座談会 部落におけるNPO・法
人の取り組み一部落の「内部」
と「外部」の交流を実践する
長谷川恵子／後藤めぐみ／鎌田行平
／谷田孝紀／高橋典男／田中初枝／
小野崎篤／司会 吉田勉・藤沢靖輔
報告 「布川事件」再審無罪決定！
内藤 武
本の紹介 大越愛子・井桁碧編著
『現代フェミニズムのエシッ
クス』、友常勉著『脱構成的叛乱
ー吉本隆明、中上健次、ジャ・
ジャンクー』 戦後アジアのな
かのジェンダー・部落問題への
問題提起に立ち会う(上) 吉田 勉
◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇523 2011.9 A4 4p
千葉さなが眠る八柱霊園へ

一ご子孫とともに あさくらゆう
足立を舞台にした顔見世狂言『二
人聲座定』 青木 昇
清光寺の解剖人墓と医師大久保適
齋(2) 矢沢幸一朗
亀有大谷田物語 最終回
一連載終了にあたって 伊藤 純
収蔵資料展 観光絵葉書の季節
◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇282 2011.9 A4 4p
「足立の桜」海を渡って百年 「絵
で見る年表 足立風土記」(平
成4年3月刊)から
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(115) 新教育指針 第
一部 後編 新日本教育の原点
第四章 科学的教養の普及 堀川 和夫
中島弘之氏の逝去を悼む 堀川 和夫
本当なのかこの事実 都民カレッ
ジOB会の飯坂忠昭氏より、貴
重な史料の紹介を戴きました 堀川 和夫
区民研究発表会
◆あるむぜお
府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇97 2011.9 A4 8p
冬鳥図鑑(2) アトリ
渡り鳥ってナンダ?(2)
渡り鳥はどこから来るのか? 中村 武史
展示会案内 企画展 大西浩次
風景写真展一時空の彩ー 本間 隆幸
NOTE 元弘の矢の根 花木 知子

知る人ぞ知る！府中ゆかりの人物
 (2) 内藤重喬 佐藤 智敬
 最近の発掘調査 白糸台でムダ堀
 の延長部を発見？ 白糸台一丁
 目 湯瀬 禎彦
 収蔵資料あれこれ
 縄文時代の珍奇な石製品 深澤 靖幸

◆板橋史談 板橋史談会
 〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
 TEL03-5398-2682 1966年創刊
 ◇266 2011.9 A5 25p
 不思議の世界
 一いたばしの昔話から 小林 保男
 東日本大震災覚え書き
 3月11・12日の体験 泉 貞代
 史跡を訪ねて(19) お静の方(前) 猪瀬 尚志
 写真ニュース(22) 小さくても侮
 れない、西熊野神社 井上 富夫

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
 〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12
 加藤恒彦方
 ◇381 2011.9 B5 26p
 夏場のTPO登山 加藤 恒彦
 キジバト(雉鳩)の不思議
 一大きさを測る基準留鳥 藤本 一美
 山での貴重品とは何？ 宮下 玲子
 上田上野介朝廣・関口家所持の地
 を訪ねて 酒井 昌樹
 小説『犬塚』(5) 小泉 重光
 カムチャツカ花紀行 関口 洋介
 地球一周クルーズ旅行記(2) 服部 英昭
 野火止・平林寺 染谷 鷹治
 山行報告

◆交通史研究 交通史研究会
 〒365-0023埼玉県鴻巣市笠原1435-1
 波田野富信気付 1976年創刊
 www.soc.nii.ac.jp/jstc/
 ◇75 2011.9 A5 95p
 中世後期の交通事情と荘園年貢
 一備中国新見荘を事例として 渡邊 太祐
 玄界灘の戦国豪商点描
 一その栄光と没落 丸山 雍成
 研究ノート 対馬藩における御城
 米船対応と沿岸警備 岡本健一郎
 例会報告要旨
 18～19世紀の多雪都市における
 雁木通りの形成と機能 渡邊 英明
 私鉄の企業間競争と社寺参詣一
 昭和戦前期の西宮十日戎等を
 中心に 坂西 哲
 第37回大会・2011年度総会報告
 概要
 大会報告要旨(自由論題)
 対馬藩田代領の廻米について 重松 正道
 対馬藩における御城米船対応と
 沿岸警備 岡本健一郎
 朝鮮通信使乗馬役と加賀藩前田
 家一正徳・享保期の鞍置馬派
 遣を中心に 横山 恭子
 秦直道と推定される古道痕跡と
 その通過地形一陝西省・甘肅
 省より内蒙古自治区までの踏
 査から 小鹿野 亮
 大会報告要旨(共通論題)
 中世品川の位置一中世品川から
 見た海上交通と文化の諸相 柘植 信行
 中世東京湾の海上交通と流通 盛本 昌広
 瀬戸内塩田におけるネットワーク
 クと情報交換 落合 功
 大正・昭和初期の大阪湾と物流
 促進機関 伊藤 敏雄

小麦と大豆をめぐる流通ネット
 ワークー東京湾・相模湾の湊
 と醤油や味噌の醸造地帯 西川 武臣
 江戸湾沿岸の物資流通
 一幕末の安房と江戸・相模 筑紫 敏夫
 第37回大会・2011年度総会報告
 事業報告ならびに事業計画
 交通史研究会改革の経過報告 丸山 雍成
 新刊紹介
 旅の文化研究所発行 研究報告
 第20号『戦後日本における旅
 の大衆化に関する研究』 波田野富信
 鈴木靖民・荒井秀規編『古代東
 アジアの道路と交通』 鈴木 章生
 展覧会情報

◆品川歴史館紀要
 品川区立品川歴史館
 〒140-0014東京都品川区大井6-11-1
 TEL03-3777-4060 1986年創刊
 ◇26 2011.3 B5 148p
 坂詰秀一館長と品川歴史館
 《特集 中原街道とその周辺》
 特別展『中原街道』と展示図録を
 読んで 村上 直
 中原御殿の地域史的意義一平塚市
 域の地域的特質の形成をめぐっ
 て 早田 旅人
 小杉御殿についての一試論 望月 一樹
 平塚市博物館所蔵の常滑焼大甕一
 酢甕として用いられた中世の常
 滑焼 白石祐司／村山卓
 特別展「中原街道」開催経過 塚越理恵子
 旗岡八幡神社に奉納された地籍図
 に関する研究 星野 玲子
 武蔵国荏原郡下大崎村名主島田家
 文書について 富川 武史
 品川白煉瓦合資会社技師・海老名

龍四郎の陶製墓所について 本間 岳人
 江戸名所を構成するもの 井田 太郎
 寛政十年の鯨 湯浅 淑子
 平成21年度企画展「品川歌舞伎の
 大舞台一館蔵役者絵展一」をふ
 りかえて 塚越理恵子

◆西郊民俗 西郊民俗談話会
 〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
 大島方 年2000円 1957年創刊
 www.ll.ocn.ne.jp/~oinari/
 ◇216 2011.9 B5 33p
 『会津農書』にみる直播き「撮田」
 佐々木長生
 茨城県における大山石尊信仰の諸
 相(1) 近江 礼子
 蛇よけのまじない 大島 建彦
 山梨県周辺の岩船地藏覚書 長沢 利明
 象潟蛸満寺の七不思議 佐藤はづき
 吾妻における野兎の民俗(中) 天野 武

◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報
 〒606-0823京都市左京区下鴨半木町1-4
 京都府立総合資料館 TEL075-723-4834
 www.jsai.jp
 ◇90 2011.8 B5 20p
 新会長ごあいさつ 全国歴史資料
 保存利用機関連絡協議会 第19
 期会長就任のご挨拶 井口 和起
 第1回役員会 新体制がスタート！
 東日本大震災臨時委員会の設置
 を承認 高木 秀彰
 東日本大震災臨時委員会が発足 小松 芳郎
 釜石での東日本大震災水損資料復
 旧プロジェクト報告会に参加し
 て 白沢 勝彦
 被災館レポート
 震災へ経て、いま (財福島県文

化振興事業団歴史資料課 本間 宏
茨城県立歴史館の被災について 木村 秀弘

委員会の動き 平成23年度の各委員会一事業計画と抱負
大会・研修委員会 富田 任
調査・研究委員会 富永 一也
広報・広聴委員会 高木 秀彰

調査・研究委員会「資料保存セミナー」の概要報告 富田 健司

公文書管理法の動向 より良い公文書等の管理を目指して一地方公共団体公文書管理条例研究会の活動について 小高 哲茂

群馬大会でめざすもの一地域社会とともに歩むアーカイブズ 小高哲茂／富田任

◆**大道芸通信** 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/

◇231 2011.9 A4 2p
京都 糺川(河)原の見世物

◇232 2011.10 A4 2p
秘伝『天狗通』
大締一代記(18) (原作)藤本甲南
／(著作)光田憲雄

◆**多摩地域史研究会会報**
〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
文化財COM内 TEL042-521-0186
1991年創刊 tamatiken.web.fc2.com

◇99 2011.9 B5 8p
第20回大会報告 第20回大会「多摩の鉄道史Ⅱ」を終えて 北村 拓

新刊紹介 原田信男編『地域開発と村落景観の歴史的展開一多摩

川流域を中心に一』(2011年2月、思文閣出版) 外池 昇

2010年度活動・決算報告／地域史情報室 青梅市郷土博物館 企画展「皇国地誌・西多摩郡村誌の世界一明治時代の青梅一」

◆**多摩のあゆみ** たましん地域文化財団
〒186-8686国立市中1-9-52 たましん国立支店内 TEL042-574-1360 年1200円
1975年創刊 www.tamashin.or.jp

◇143 2011.8 A5 114p
《特集 中世多摩の荘園と武士》
多摩郡の武士と所領形成
一横山氏を中心として 鎌倉 佐保
鎌倉幕府の成立と多摩の武士団 清水 亮
鎌倉・室町期の長井氏と横山荘 徳永 裕之
戦国時代の棚田長井氏 黒田 基樹

洋風建築への誘い(32) 思い出すあの頃のこと一新立川航空機株式会社 伊藤 龍也

建物随想記(27)
新立川航空機 塔 酒井 哲

古文書は語る(30) 蛇より行事の由来一妙見寺文書「北辰妙見尊略縁起」より 馬場 憲一

多摩の食文化誌(4)
食の情景(1) 増田 昭子

多摩のみほとけ(6)
府中市大國魂神社 本地仏像 齊藤 経生

本の紹介
パルテノン多摩歴史ミュージアム編『幕末任侠伝 一ノ宮万平とその時代』／府中市郷土の森博物館編『アウトローたちの江戸時代史一19世紀の府中の世相一』 高尾 善希

東村山郷土研究会編『東村山

郷土のあゆみ4』 石川 正行

福生市教育委員会編『石川彌九郎(石川酒造)文書目録』 米崎 清実

まちの情報ハブ・図書館(6)
日野市立図書館 高橋 寿恵
町田市立図書館 澤潟 恵子

◆**東京産業考古学会 NEWSLETTER**
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方 FAX03-3964-8548
tias3.web.fc2.com

◇90 2011.9 A4 6p
行事予定
報告 産業考古学基礎講座 第3回「北区十条の旧陸軍造兵廠赤煉瓦建造物の解体調査について一5000枚の写真で知る煉瓦造の積み方・構造など一」の概要 八木 司郎

報告 講演会「産業遺産を出版して」の概要 奥原 一三

調査研究支援事業の公募について(お知らせ)

2011年度第3回理事会の議事概要／2011年度第4回理事会の議事概要

博物館シリーズ(3)
初の国産量産車 オートモ号 小野田良智
初の太平洋無着陸横断機「ミス・ビードル号」復元機の飛行 柚須 紘一

短信 セキグチ・ドールハウスが閉館／セルロイドハウス横浜館が再開／船の科学館がリニューアル閉館／機械遺産にあらたに7件を認定

報告 見学会 日本大学松戸歯学部歯学史資料室 多田 統一

茨城県土浦市の赤煉瓦建築物(4)
赤煉瓦造の蔵(3) 八木 司郎

新刊紹介
「近代の産業遺産をたずねる」 多田 統一

◆**練馬郷土史研究会会報**
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
1956年創刊

◇335 2011.9 A4 4p
豊島氏関係史料を読む(15)
戦国期宮城氏の位置と太田氏 伊藤 一美

練馬の城を往く(2)
石神井城(続き) 八巻 孝夫

東京市養育院と、彼のひとびと(3)
一児玉花外・島崎こま子・長谷川利行・物集高量 日向康三郎

◆**練馬区地名研究会会報**
〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264 年2500円
1987年創刊

◇96 2011.8 B5 4p
第96回例会
江古田原合戦を検証する 葛城 明彦

石神井台の昔と今
一地図等から見てⅡ 土屋 正孝

◆**目黒区郷土研究** 目黒区郷土研究会
〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
長澤英男方 TEL03-3711-3959

◇680 2011.9 B5 8p 150円
路線バスに乗って区内案内(17)
(恵32系統)「恵比寿～用賀線」の内「五本木～東京医療センター」 平山 元也

アメリカ橋余聞(2) 田丸 太郎

自然園と境界石 橋口 明子

目黒と目と黒と(7)
一つ目の神・金屋子神 目黒 英夫

会報にみる目黒の昔(34)「碑文
谷の川と橋(三)」樋口信助 (206
号 昭和47年3月)、「碑文谷の
川と橋(四)」樋口信助 (207号
昭和47年4月) 編集部
町会誌でたどる昭和史(3) 柿の
木坂移り変わりより 柿の木坂
町会編集
落語雑記・三 きくめいちく 仲野 基道

◆論集さんせい 近世史研究会
〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部日本史学研究室気付
TEL03-3812-2111 1978年創刊
◇33 2011.5 B5 64p
研究ノート
紀州藩における国学者の存在形
態—参沢明の例から 三ッ松 誠
18世紀における三井家の大名貸
—笠間藩牧野家を事例として
大橋 毅顕
史料紹介 平松時行『女院御用雑
記』(宝暦4年)—翻刻 女院御所研究会
近世史研究会活動報告

◆コロス 常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二 年1000円 1979年創刊
◇126 2011.8 B5 6p
城下町の民俗的世界
—小田原の年中行事(15) 西海 賢二

◆寒川文書館だより
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山
135-1 TEL0467-75-3691 2007年創刊
www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp
◇10 2011.9 A4 8p
東日本大震災と寒川文書館 レフ

ァレンスの急増／文書館で調べ
られること／ミニ展示「関東大
震災の記録」／ミニ展示「大地
震について調べよう」／出前講
座の依頼
町史研究17号が再注目／計画停電
への対応／表紙の写真
文書館運営審議会が改選
シリーズ 寒川の先人たち(9)
寒川ゆかりの鎌倉武士—梶原景
時
第10回企画展 再発見！さむかわ
の農業 農業の現状／寒川農業
のあゆみ／農を支えた先人たち

◆逗子吾妻鏡研究 逗子吾妻鏡研究会
〒240-0111三浦郡葉山町一色553-18
TEL046-875-3589 年3000円 1990年創刊
◇32 2011.9 B5 8p
吾妻鏡を読むために(23)
源頼朝の地主職安堵 伊藤 一美
鎌倉のいしぶみ散歩(2)
段葛(承前) 伊藤 一美
デキスト『吾妻鏡』活字本の旅(2)
伊藤 一美

吾妻鏡のまど
中世人の好みは変わっている？
図書紹介 奥富敬之著『吾妻鏡の
謎』吉川弘文館歴史文化ライブ
ラリー—277
コラム (読売新聞8月31日)

◆戦争と民衆
戦時下の小田原地方を記録する会
〒250-0011小田原市栄町3-13-21
井上弘方 1980年創刊
◇67 2011.8 A5 24p
聞き取り 陸軍パイロット上原中

佐の慰霊碑移転 林洋子／江川芳彰
解説 上原中佐の慰霊碑について
井上 弘
本会発行の書籍案内
聞き取り 沖縄・宮古島への出征
奥津 宏
解説 沖縄・宮古島の戦争 井上 弘
私の戦争体験を読まれる方へ 奥津 宏
会員募集のお知らせ
交流報告 「横浜大空襲祈念のつ
どい」参加記 矢野 慎一
最近の『戦争と民衆』目次
第59号～第66号

◆扣之帳 扣之帳刊行会
〒250-0021小田原市早川60 青木良一方
TEL0465-22-8852 年2500円 2003年創刊
◇33 2011.9 A5 104p 500円
最後の丁稚小僧(上)
—八小堂書店に50年 小泉 政治
漱石山脈をたどる 岸 達志
ボクの映画館(13) ヒッチコック
万歳！—「北北西に針路をとれ」
を中心に 平倉 正
最上家の駒姫様 今川 徳子
酒匂だより「オクラ」 町田紀美子
俳句随想 夏の綿虫・螢籠 佐宗 欣二
桜町仕法は新展開できたか 尾上 武
足柄を散策する(13) 文学遺跡を
尋ねて 箱根路を行く(上) 杉山 博久
関東大震災竜巻体験記 奥津福太郎
釣り文学と魚の地震予知 小田 淳
歌舞伎を彩った人々(5) 11代目
中村勘三郎と二人の中村時蔵 田中 豊
亀右衛門咄(10) 元禄大地震百ヶ
年忌供養—谷津慈眼寺縁起 青木 良一
わが愛する明恵上人(上) 茂木 光春
全盛期の松田西明寺想像図 島村 俊介

◆民具マンスリー
神奈川県日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円
◇522 (44-6) 2011.9 A5 24p 350円
長野県北部地震と民具・古文書の
救出—三回の文化財保全活動か
ら 白水 智
谷津(ヤツ)の水田漁撈
—汽水域の生業複合(下) 安室 知
◇523 (44-7) 2011.10 A5 24p 350円
原発被災地の文化財行政と文化財
の現状—南相馬市の事例 岩崎 真幸
死者の正月—巳正月の現代の変容
と墓の設え 大本 敬久

◆悠 久
鶴岡八幡宮悠久事務局(発売：おうふう)
〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315 1980年第2次創刊
◇125 2011.8 A5 160p 680円
《特集 鯨の文化誌》
口絵『西海捕鯨図』
エッセイ 歌枕に思う 永田 和宏
日本人と鯨食文化 小松 正之
捕鯨—最後に産業化された史上最
大の狩猟業 山下 涉登
エビス神としての鯨 立平 進
三重の捕鯨行事と捕鯨 野村 史隆
鯨塚・鯨供養塔 松崎 憲三
食用以外の鯨の用途について 中國 成生
資料紹介 勇魚文庫の鯨関係史料
細田 徹
小論文
鯨の錦絵管見—北斎・国芳描く
鯨図を中心に、鯨の図像形成
を求めて 岩切三枝子
古典にみる鯨 池田三枝子

鯨の歌 成田 守
 鯨の玩具 細田 徹
 コラム クジラの句碑、歌碑 岩崎 香子
 八幡宮紹介 鰐鳴八幡宮（山口県
 山口市上小鯖）
 新刊紹介 『両神の民俗的世界』
 埼玉大学文化人類学両神調査会
 編、天皇陛下喜寿記念写真集『御
 所のお庭』宮内庁協力・『皇室』
 編集部編

中 部

◆頸城文化 上越郷土研究会
 〒942-0081新潟県上越市五智6-1-11 花ヶ
 前盛明方 TEL025-543-4354 1952年創刊
 ◇59 2011.9 A5 210p
 《親鸞750回忌記念
 続 親鸞と妻恵信尼特集号》
 恵信尼文書の気になるところ 太田 空賢
 遠祖板倉三善氏の故地探訪と恵信
 尼のゆかり 三島 義教
 親鸞聖人、恵信尼公ゆかりの地紹
 介 安原 義一
 親鸞聖人七百五十回忌記念 親鸞
 聖人関連出版物紹介一挙にあら
 るもののみ 安達恩／大場厚順
 親鸞と恵信尼 花ヶ前盛明
 長尾為景の領国体制についての一
 考察 諸井 幸枝
 福嶋城(7) 渡邊 昭二
 遠州・越後、秋葉信仰の相克の歴
 史 石田 哲彌
 糸魚川市の世界ジオ・パークにつ
 いて(1) 土田 孝雄
 自然災害と郷土史考—平成23年・
 東日本大震災が教えるもの 丸山 正男
 ヒスイ産地から搬出されたヒスイ
 の類型について—佐渡島へのヒ

スイ搬入・搬出問題とその視点 関 雅之
 廃村の跡を尋ねて
 一板倉区旧上筒方 佐藤 幸雄
 浦川原地区の地名による民俗学的
 考察 大山 清
 五智国分寺「為見真大師御流謫七
 百年記念」碑「竹之内十八日御
 講」 青山 増雄
 越後庄大夫一松前を討滅し蝦夷独
 立を目論んだ越後人の半生 土井 重男
 屏風裏貼り文書「嶋倉村植木喜太
 夫あて書状」の断片から近世上
 層農民の交際と趣味をよみとる 小池 昇
 上越市史編さん事業から公文書セ
 ンターへ 山本 幸俊
 NHK新潟放送局「朝の随想」

◆長岡あーかいぶす
 長岡市立中央図書館文書資料室
 〒940-0065長岡市坂之上町3-1-20
 長岡市立互尊文庫2階 TEL0258-36-7832
 2005年創刊
 www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/monjo/
 ◇11 2011.8 A4 4p
 長岡の碩学(11) 片山翠谷（初代
 1786～1846、二代1841～1897）桜井奈穂子
 文書の虫
 「帝都」での「花鯉」宣伝 小林 良子
 ボランティアの皆さんの協力を得
 て山古志地域の文書資料を整理
 しました 田中 洋史
 災害と文書資料室(7)
 東日本大震災への対応から 田中 洋史
 歴史の好きな子、集まれ！—歴史
 学習教室で史料保存を体験 桜井奈穂子
 古文書クイズ(11)—ちょっと一息

／新たに公開した所蔵資料一覧
 長岡市史双書No.50の刊行と読む会
 の開催 石井 順子
 ◆とやま民俗 富山民俗の会
 〒930-0881富山県富山市安養坊56甲-1 富
 山市民俗資料館内 年3000円 1974年創刊
 ◇76 2011.9 A5 27p
 城端庭の生産と集荷
 一旧福光町香城寺を中心に 加藤 享子
 戦没碑の語りかたるもの 尾田 武雄
 八尾と利賀村上百瀬との交流—竜
 口タケノコの移出、獵師の交流
 を中心として 森 俊
 旧大沢野町横樋の六十六部供養塔
 平井 一雄
 民俗の窓・会務報告・文献紹介・
 受贈図書

◆北陸石仏の会会報
 〒939-1315富山県砺波市太田1770
 尾田武雄方 TEL0763-32-2772
 年3000円 1993年創刊
 ◇39 2011.9 A4 8p
 北辰星 滝本やすし
 旧大野町(富山市)吉野の名号塔 平井 一雄
 第42回例会(高岡市伏木～氷見市
 の石仏めぐり)に参加して 長谷かおり
 牧姫塚の石塔 滝本やすし
 富山市婦中町常楽寺の西国三十三
 ヶ所観音由来 平井 一雄
 北陸石仏の会 第43回例会のご案内
 内 石の里・小松市の石仏めぐ
 り

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館
 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
 TEL076-262-3236 1986年創刊

www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/
 ◇101 2011.9 A4 6p
 秋季特別展「染の華 織の心—加
 賀・能登の技とデザイン—」 大井 理恵
 「平和と繁栄」の未来図 姉妹館
 交流記念特別展「江戸時代」開
 催に寄せて 大門 哲
 催事日録／行事日程／主な刊行物
 のご案内
 れきはくトリヴィア
 加賀藩士のお屋敷

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会
 〒918-8113福井県福井市下馬町51-11
 福井県立図書館内 TEL0776-33-8860
 年3500円 1956年創刊
 ◇292 (56-1) 2011.8 B5 44p
 福井県大飯郡おおい町岡田西安寺
 石造五重塔実測調査 古川 登
 『陣中日誌』の特異な歴史的 성격 三上 一夫
 白山杣取権の一考察—天文相論時
 の織田信秀の関与について 竹間 芳明
 越前府中龍門寺の草創について
 付 妙法寺の草創期の仏源派の
 展開 池田 正男

◆飯田市歴史ニュース 飯田市歴史研究所
 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
 TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp
 ◇53 2011.8 A4 4p
 第9回飯田市地域史研究集会 戦
 後復興から高度経済成長へ—飯
 田・下伊那の経験
 第1回満州移民研究ゼミの模様／
 新刊紹介 満州開拓移民オーラ
 ルヒストリー「下伊那のなかの
 満州」聞き書き報告集9／歴史
 ゼミ／地域史講座 飯田・下伊

那の歴史／飯田市歴史研究所年
報9／研究定例会
りレーエッセイ 新スタッフ紹介
伊坪達郎調査研究員
『飯田・上飯田の歴史』（仮題）刊行
事業より
上巻 古代～近世
町と村と御用水 竹ノ内雅人
下巻 近代～現代 飯田町の上
水道敷設（明治～大正） 池田 勇太

◆伊那 伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円
◇1000（59-9）2011.9 A5 74p 700円
《通巻1000号記念
松尾多勢子生誕200年記念特集号》
口絵 松尾多勢子の遺芳
幕末維新时期伊那谷平田派国学運動
の展開・再考 今牧 久
幕末維新时期の女性勤王家・志士
松尾多勢子の生涯 山内 尚巳
竹の舎 竹村 道生
『松尾多勢子生誕200年特集号』に
寄せて 松尾 伸二
松尾多勢子と北原稲雄・今村豊三
郎のかかわり 今村 善興
国学四大人を祀る本学神（霊）社と
松尾多勢子―篠山御遷宮御行列
之記と恩賜の白縮緬から 手塚 勝昭
松尾多勢子の歌碑 熊谷 英彦
平田派国学の具象
―南信州の神代文字関係資料 岡田 正彦
飯田市山本における多勢子歌碑建
立事業 平岩 孝司
松尾多勢子最晩年の歌「皆人の…」
について 近藤 政彰
松尾多勢子胸像の発見とそのプロ

ンズ像化 筒井 良二
豊丘村歴史民俗資料館の松尾多勢
子関係展示品
松尾多勢子年譜 原田望／山内尚巳

◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2
TEL0265-78-6719 年5000円
◇656（55-9）2011.9 A5 40p 500円
《井月徳集号》
諸家俳句集『まし水』（仮題）
文久二年 井月編 竹入 弘元
「ほかいびとー伊那の井月ー」ロ
ケ日記（3） 秋・冬完結編 石曾根志季子
昭和12年の「井月遺墨展目録」で
見出した新句 翁 悦治
井月終焉地回顧
一落栗碑移設を期に 矢島 太郎
幕末の狂騒「やっちょろ踊り」 宮原 達明
上伊那の蝶（2） アサギマダラ 中村 寛志
文化短信 暗闇に舞う光 吉田 保晴
考古あれこれ（12）
縄文ビーナス土偶の型式分類 田中 清文
師匠の背中（2）より（35）
苗床（さつま芋） 若林 徹男

◆伊那民俗
柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊
◇86 2011.9 B5 8p
飯田町の食生活を支えた杉屋豆腐
店 関口豊さん・千代さんにお
聞きする 片桐みどり
飯田の祇園祭（2）―今では「津島
様」と呼ばれている 松上 清志
柳田国男の『信州随筆』研究（21）

飯田の枝垂れ桜 寺田 一雄
新刊紹介
野本寛一編著『食の民俗事典』今井 啓

◆信濃 信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
TEL0263-36-1785 年8400円
www.shinano-shigakukai.com
◇740（63-9）2011.9 A5 86p 900円
高遠藩士・阪本天山の易学思想の
位置―易学史を論じた史料から
の考察 林 洋一
直江實綱書状からみる長尾宗心出
奔の事情―高梨氏飯山口応援依
頼の越後方返答から 松澤 芳宏
村上義清の子義長とその子孫
―加賀藩士村上氏 鈴木 景二
高橋慎一郎による伊澤修二全集編
纂 塚田 博之
研究ノート 小野篁『信濃国府絵
図』発見の意味―付 松本市内
・岡田にあった「錦服駅」 臼田 明
書 評
中村文著『信濃国の明治維新』塚本 学
書誌紹介
川崎保編『信濃国の考古学』 岡田 正彦

◆長野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇279 2011.9 A5 48p 700円
口絵
登山鉄道が計画された往生寺
小林計一郎の原点（8）
渡辺敏先生伝（6） 小林計一郎
秋葉三尺坊大権現について 深澤 純一
ローカルの再審―近代の終焉と新

しい社会の創造（下） 築山 秀夫
講談「真田三代記」（30） 小林 一郎
三輪田町高土手の赤地藏さんと長
野市立城東小学校三年一組のこ
と 北村 俊治
「北国街道一駅旅 篠ノ井駅から
今井駅まで」に参加して 菊原 修一
「善徳寺虫干法会の絵解きと越中
の小京都城端」参加レポート 矢向 忠雄
私たちの会のあゆみ／出版／クイ
ズに挑戦

◆長野県民俗の会通信
〒399-7104長野県安曇野市明科七貴6535-5
巻山圭一方 TEL0263-62-6535 年5000円
www.janis.or.jp/users/folk/
◇225 2011.9 B5 8p
聞き書きの作法 福澤 昭司
松本市蟻ヶ崎の「泉小太郎の枝垂
れ桜」について 小原 稔
葉書でつぶやくコーナー
都市の伝承者 倉石 忠彦
大震災通信（3）―うわさ 倉石あつ子
「歴女」と「アンノン族」 木下 守

◆郷土研究岐阜
岐阜県郷土資料研究協議会
〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1
岐阜県図書館内 TEL058-275-5111
年2800円 1973年創刊
www.library.pref.gifu.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm
◇116 2011.9 B5 28p
昨日は今日の昔なり
―こばやしひろしを悼んで 浅野 公蔵
ミライイズムについての考察 山田 昭男
山田昭男氏の経営哲学と未来工業
（「ミライイズムについての考
察」補論） 根岸 秀行

岐阜県の先生、宮城県で復興支援
古絵図による曾根城の一考察 坂東 肇
生誕100年 養老鉄道の変遷とその
存続(上) 松田 千晴
関市富之保の大字地名由来 土屋 一
杭瀬川の川湊と船町湊(2) 清水 進
書窓の風
岐阜 岐阜城下町遺跡、上尻毛
高田遺跡の発掘 内堀 信雄
可茂 可児市史の発刊・編集事
業の終了 中島 勝国
東濃 第九回国際陶磁器フェス
ティバル美濃11に関連して美
濃焼産地資料館が美濃焼千三
百年の流れから美濃窯の誇り
を表示する 桃井 勝
郷土関係新刊書目録(102)
郷土関係逐次刊行物文献目録(101)

◆岐阜市歴史博物館だより
〒500-8003岐阜県岐阜市大宮町2-18-1
岐阜公園内 TEL058-265-0010 1985年創刊
◇78 2011.8 A4 8p
聖観音菩薩立像
国宝 薬師寺蔵
特別展「国宝・薬師寺展」
加藤栄三・東一記念美術館「薬師
寺所蔵名品展」
加藤栄三・東一記念美術館「加藤
栄三・東一 風景との出逢い」
博物館ニュース
江の手紙を特別公開
研究ノート 美濃国に残る行基ゆ
かりの寺院 吉田 晋右
館蔵資料紹介 『美濃国卅三所観
音巡礼記』黄梅院恵応序、『美
濃国三十三所観音巡礼歌』吉田
山序

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 2007年創刊
www.4tokai.or.jp/child-cj/
◇51 2011.8 A4 4p
被災地大船渡へ 吉川 祐子
◇52 2011.9 A4 4p
大船渡の被災地から学ぶ 吉川 祐子
◇53 2011.10 A4 4p
予告!! 被災地支援民俗芸能フェ
スティバル 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報
〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学
情報学部 荒川章二研究室内 年4000円
◇396 2011.9 B5 6p 200円
第34回総会を開催します 記念講
演会「戦後日本の地域社会・文
化運動―敗戦～1950年代を中心
に」北河賢三氏
9月例会レジュメⅠ 人権概念の
戦後史―人権は地域社会に浸透
したのか? 橋本 誠一
9月例会レジュメⅡ 浜松市海老
塚の暴力団追放とは何だったの
か―マスコミ報道の課題 小笠原康晴
投稿 やすらぎの塔の再建を望む 佐藤 吉男

2011年7月幹事会報告
本の紹介 『神山復生病院120年の
あゆみ』(財団法人神山復生病
院復生記念館)
新刊紹介 『駿台史学』第141号 加藤 善夫

◆静岡県の歴史と文化
静岡県の歴史と文化研究会
〒424-0873静岡市清水区有東坂1-224-264

川崎文昭方 TEL054-345-4346
◇14 2011.3 B5 46p 500円
後北条氏の狼煙による通信網につ
いて―天正期の伊豆西北海岸を
中心に 望月 保宏
天和期における駿河幕領支配につ
いて―天和二年「琉球人継人馬
・朝鮮人継人馬駿州御割合帳」
の分析を中心に 厚地 淳司
新刊紹介 川崎文昭著『近世海難
と浦証文の研究』

◆豆州歴史通信 豆州研究社歴史通信部
〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10
1989年創刊
◇467 2011.10 B5 4p
安政の大地震は二度もあった
1854(安政元)年と1855(安政2)
年
「竹下甫水・時局日記」の発行に
関連して。竹下甫水の人物を紹
介する。時局を知り、未来を見
据えた、判断力の優れた人間。
(2011年3月1日) 森山 俊英

◆郷土文化 名古屋郷土文化会
〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
名古屋市鶴舞中央図書館
TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊
◇215 (66-1) 2011.8 A5 72p 1500円
愛知県古井村を再考する 小林 元
春日井の俳諧(2) 大野 哲夫
糧谷磯丸雑考―熱田神宮との関わ
りにも触れて 辻村 全弘
図絵に見る尾張の街道風景(8) 櫻井 芳昭
明治初期の用水と村点描(下) 中村 保夫
『中区誌』の紹介 早川 秋子
第42回研究会発表会要旨 開府四

〇〇年絵はがきにみる近代名古屋
屋 井上 善博
第43回研究会発表要旨
長久手古戦場を訪ねた人々 服部 直子
平成23年度理事会報告 事務局

◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇555 (51-5) 2011.9 B5 8p 600円
調査報告 宮島 社寺のまつり
巖島神社の玉取祭(延年祭、玉
取延年祭) 米田 幸寿
交流見学会の記録 隠岐国分寺蓮
華会舞を見て(下) 清水 昭男
第53回 平成23年度ブロック別民
俗芸能大会 出演芸能
第41回東海民俗研究発表大会発表
要旨 祭りを活用した博物館事
業―地域の核としての新機能 武藤 真

◆史料 皇學館大学史料編纂所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6462 1978年創刊
◇231 2011.9 B5 20p 300円
人名に含まれる「連公」について 白井伊佐牟
いにしへの伊勢(11)―絵葉書・古
写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

近 畿

◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100 1988年創刊
www.city.hikone.shiga.jp/museum/
◇94 2011.9 A4 4p
資料紹介 御頂戴御土器 当館蔵
野田 浩子

展示案内 9月～12月 9/2～9/27
 展示室1 肥田の古墳・城・村
 一大地に刻まれた記憶／9/30～
 10/24 展示室1 裁と縫ー井伊
 家伝来能装束から／10/28～
 11/27 展示室1～3 企画展
 武門の絆ー徳川将軍家と井伊家
 ／12/1～12/22 展示室1 阿弥
 陀信仰の美術ー寄贈・寄託作品
 から
 研究余録 金亀玉鶴 観音寺・阿
 弥陀如来坐像についてー京都仏
 師系による玉眼使用の一例 真野 順之

◆民俗文化 滋賀民俗学会
 〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
 TEL0740-36-1414 年4800円
 sigaminzoku.fc2web.com

◇576 2011.9 B5 12p 400円
 時の権力者には何時も従順な日本
 人ー地理的自然環境に恵まれて
 菅沼晃次郎
 湖水の水難伝承(3)ーせせらぎ長
 者と田川カルバート 馬場杉右衛門
 意太神社考 長谷川博美
 滋賀の石造文化財(中世)の概観に
 ついて (16) 福澤 邦夫
 摺針石(磨針石)について 粕渕 宏昭
 古い砥石について 粕渕 宏昭
 桑名市春日神社の「しるべいし」
 について 粕渕 宏昭
 私の戦争体験記ーバシイ海峡輸送
 船の惨劇(1) 馬場杉右衛門
 講師 旭堂南陵(二代目)の聞き
 書き一代記(5) 菅沼晃次郎

◆宇治市歴史資料館年報
 〒611-0023京都府宇治市折居台1-1

TEL0774-39-9260
 ◇2009 2011.3 B5 26p
 研究ノート
 維君の宇治訪問と茶師 坪内 淳仁

◆古代史の海 「古代史の海」の会
 〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
 中村修方 FAX075-392-3743
 年4000円 1995年創刊
 www.k5.dion.ne.jp/~pan/kodaishinoumi/
 ◇65 2011.9 A5 108p 1500円
 巻頭言 大津波の神話 半沢 英一
 美濃国方県郡の式内社と古墳の配
 置 尾関 章
 「熊襲」の原像 宝賀 寿男
 古代日本における治天下大王の出
 現(後)ー倭王武はなぜ冊封体制
 から離脱したのか 鮫島 彰
 会員ひろば
 磯城と磐余 渡部 正路
 不知火湾古墳見学記ー坂下式石
 積石室墓を中心として 竹本 義昭
 アンデス通信(18) 市木 尚利
 平野邦雄『邪馬台国の原像』を読
 む 中村 修
 南部九州の特異な墓制
 ー板石積石棺墓を中心に 重村 英雄
 上代特殊仮名の根本的解明(19) 坂田 隆
 卑弥呼と宇佐神宮比売大神(5) 鷲崎 弘明

◆史迹と美術 史迹美術同致会
 〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
 西大路町146 中西ビル内
 FAX075-441-3159 年8000円 1930年創刊

◇818 (81-8) 2011.9 A5 34p 915円
 口絵 平成22年12月例会 日野
 浜田杏堂の書画作品(下) 村上 泰昭
 白馬を「あおむま」と言うこと

一馬の毛並と五行説 寺本 健三
 鬼瓦百選(98) 小林 章男
 第960回例会 日野町の中世石造
 美術と「近江式装飾文様」を見
 る 品角阿止美
 新刊紹介 石造美術探訪記Ⅷ『南
 関東・甲信地方の図像板碑』(村
 田和義著) 中西 亨

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
 〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
 糸井通浩方 TEL0774-44-7636 年3000円
 www.geocities.jp/Kyotochimei/
 ◇38 2011.9 A4 8p
 第31回京都地名フォーラム報告
 講演 大堰川流域にみる地名
 (秋里悠兒)／発表1 丹波の中
 世と地名(安藤信策)／発表2
 園部の遺跡と地名(辻健二郎)
 京の地名俳句を観る(2)
 洛中の巻 尾崎聖二郎
 ご案内 京都地名研究会・十周年
 記念 in 舞鶴 地名フォーラム
 (第32回) 講演 鏡味明克 日
 本語とアイヌ語の人体語彙によ
 る地名ー発表した国際地名人名
 会議の紹介を兼ねて／発表1
 高橋聰子 城下町田辺(舞鶴)の
 地名の移り変わりー幕末から明
 治へ／発表2 加藤晃 大雲川
 と由良川
 池田末則博士を悼む 吉田 金彦
 研究会紹介 第24回熊本地名シン
 ポジウム「阿蘇の神々と風土」
 「京都新聞」2011年4月10日付け(転
 載) 糸井通浩『「作文歩上」の
 すすめ』(ソフィア会議)

◆初音 古代学協会年報
 〒604-8131京都市中京区三条高倉西入ル菱
 屋町48 TEL075-252-3000
 www.kodaigaku.org
 ◇1 2011.9 B5 49p
 設立の趣旨と沿革／管理・運営概
 要／平成22(2010)年度事業概要
 ／平成23(2011)年度事業概要
 研究報告 ポンペイ「想定カプア
 門」発掘調査概要 江谷 寛

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
 〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
 ◇285 2011.9 B5 10p
 佐野浦の漁業(2)
 鎌与三・時代の証言 播磨谷慶三
 (株)むかしの歴史(2) 向井新／北山理
 和泉の中世城跡(3) 井田 寿邦

◆大阪歴史懇談会会報
 〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2
 TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊
 blog.goo.ne.jp/rekisitanbou/
 ◇325 (28-9) 2011.9 B5 12p
 浪速今昔百景(8)
 天神さん(大阪天満宮) 川村 一彦
 8月例会報告(第300回) 平成23年
 度本会定時総会 演題「金子み
 すゞの中のアジア」ーインド・
 中国・朝鮮 片倉穰氏
 〈追悼特集 島野穰さんの遺徳に感謝して〉
 相談役 島野穰さんの死去に想う
 田村 紘一
 島野穰さんを偲んで 川村 一彦
 島野穰さんを偲ぶ 安居 隆行
 島野穰さんを悼む 中澤 祐一
 ◇326 (28-10) 2011.10 B5 12p

浪速今昔百景(9)
大平寺「十三まいり」 川村 一彦
9月例会報告(第301回)「応仁の乱
の京都社会」町衆文化を中心に
西山剛先生／古文書講座(第129
回) 演題「人馬賃銭定」 石川
道子先生
見学会報告
京都大学付近を訪ねて 山崎 保雄

◆**かいづか文化財だより** テンブス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
TEL072-433-7126 1996年創刊
◇46 2011.8 A4 8p
貝塚寺内周辺登録文化財地図／貝
塚市内周辺登録文化財一覧
孝恩寺の仏像一如来(3) 阿弥陀
如来 重要文化財 木造阿弥陀
如来立像 1軀
古文書をひも解く 江戸時代の農
作物ー甘い作物「西瓜」を考え
る
古文書講座「北前船と貝塚」／古
文書講座(第37回)開催のお知らせ
第94回かいづか歴史文化セミナー
感田神社「貝塚宮」湯神楽神事
現地見学会

◆**河童通心** 和田寛
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
TEL072-251-2586 年2400円
◇333 2011.9 A5 22p 200円
河童の文化史 平成期(14)
平成17年(2005年) 和田 寛
◇334 2011.10 A5 20p 200円
河童の文化史 平成期(15)

平成18年(2006年) 和田 寛

◆**近畿文化** 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7 階
TEL06-6775-3686 年2200円
◇742 2011.9 A4 8p 300円
天誅組と十津川郷士 続 来村多加史
世界遺産をめざす古市古墳群を歩
く 一瀬 和夫

◆**近畿民俗通信** 近畿民俗学会
〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5
原泰根方 TEL06-6709-8533 2009年創刊
◇9 2011.9 A4 4p
温泉今昔ー秋田県の白濁湯の効能
と湯治に関わる薬師信仰 大森 恵子

◆**古代史の研究** 関西大学古代史研究会
〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学文学部 西本研究室内
TEL06-6368-0493 1978年創刊
◇17 2011.9 A5 88p 1500円
斉明天皇陵の造営・修造と牽牛子
塚古墳ー建王・間人皇女・大田
皇女の合葬墓域として 西本 昌弘
聖霊御髪・太子髻中明珠と平安初
期の四天王寺 山口 哲史
時服の変遷に関する基礎的考察 藤井 貴之
研究ノート
竺志米多国造について 渡里 恒信
追悼文 あなたは何時もそこに居
ましたー越原良忠さんに捧げる
詞 寺西 貞弘
史料探訪

◆**左海民俗** 堺民俗会
〒590-0144堺市南区赤坂台1-46-9

TEL072-298-8651 年3000円
◇137 2011.9 B5 12p
特集 災害
擁護璽に刻まれた津波の教訓 川村 淳二
特別寄稿 岸和田市山直(ヤマダ
イ)の木製五右衛門風呂 桜井 勲
第65回総会報告
訃 報
心友 熊ノ郷安生さんの思い出
生駒 道弘
熊ノ郷安生さんを追想する 山崎 琢磨
菩薩さまに導かれて 岸田 明代
熊ノ郷さんの急逝を悼む 佐原 浩二
忘れられない人 森井 淳吉
熊ノ郷安生さん
例会報告と一口メモ
3月例会報告 奈良・西ノ京の散策 植田 敏義
4月例会報告 オオヤマト神社
からイソノカミ神宮 生駒 道弘
4月特別例会 矢田丘陵を歩く 佐原 浩二
5月例会報告
東大寺一万葉歌碑を巡るⅦ 下谷 佐吉
5月特別例会報告 熊野古道Ⅳ
(東岸和田から長滝まで) 佐原 浩二
特集記事とテーマについて 佐原 浩二

◆**つどい** 豊中歴史同好会
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方 TEL06-6857-4959
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇284 2011.9 B5 18p
考古学からみた四・五世紀の大和
王権と高句麗 藤田 憲司
尼崎・伊丹の史跡を訪ねる 金谷 健一
北陸の古代史を巡る旅(1) 古高 邦子

◆**ヒストリア** 大阪歴史学会
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学人文学研究科 市沢哲研究室
1951年創刊 www.soc.nii.ac.jp/historia/
◇227 2011.8 A5 155p 800円
郡司譜策考 磐下 徹
1920年代の県ー町村関係ー県・郡
町村長会と地方行政 能川(尾島)志保
研究ノート
唐僧義空の招聘とその背景 大槻 暢子
わたしたちの文化財
根来の城、発見と保存の意義 海津 一朗
書評 須原祥二著『古代地方制度
形成過程の研究』 森 公章
報 告
大阪府条例による君が代起立斉
唱の義務づけに対する反対活
動 柳沢 菜々
歴史教科書採択に関する声明 企画委員会
大阪府・市公文書館問題その後 本井優太郎
地域資料シンポ拡大研究会「自
治体文書館がめざすべき道ー
公文書管理法施行をうけて
ー」参加記 船勢 肇
宮内庁書陵部との懇談会2011 岸本 直文
緊急報告
被災資料を救うためにー東日本
大震災における被災資料保全
活動 澤井廣次／吉原大志
東日本大震災における歴史資料
保全活動現地レポート 吉川 圭太
2011年度大会・総会の記録

◆**民俗文化** 近畿大学民俗学研究所
〒577-8502大阪府東大阪市小若江3-4-1
TEL06-6721-2332 1989年創刊
◇23 2011.6 A5 315p

表紙・口絵写真 隠岐・山陰沿岸
の民俗 大脇潔／胡桃沢勘司／戸井田
克己／藤井弘章／渡辺良正
《隠岐・山陰沿岸の民俗》
隠岐・出雲薨紀行
一杉皮葺きと左棧瓦・石州瓦 大脇 潔
近世の隠岐島海運 胡桃沢勘司
隠岐の自然と生業
一牧畑のその後を中心に 戸井田克己
隠岐・山陰沿岸のウミガメの民俗
藤井 弘章
島根県の神楽衣裳―資料的に整理
するための取り組み 浅沼 政誌
鳥取の初午行事
一鳥取市上味野地区を中心に 原島 知子
聞き書き 隠岐・竹島のアシカ猟
藤井 弘章
中国山東省黄県人の商業慣習
蔣惠民／上田貴子
書評と紹介
岡恵介著『視えざる森の暮らし
一北上山地・村の民俗生態史』
戸井田克己
野本寛一著『地霊の復権 自然
と結ぶ民俗を探る』 藤井 弘章
付録 民俗学研究所第23回公開講
演会 墓制研究の課題(要旨) 岩田 重則

◆歴史懇談 大阪歴史懇談会
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2
アンティークショップ一兵内
TEL06-6931-1081 年5000円 1987年創刊
blog.goo.ne.jp/rekisitanbou/
◇25 2011.8 B5 119p 1600円
特別寄稿
地域のイラストマップ作り 石川 道子
玉山金山(5) 松坂 定徳
石見吉川家十代目 吉川式部少輔

経家(7) 田村 紘一
千里丘の里山 キツネの反撃
一無残! 名利似禪寺 安居 隆行
明治維新の光と影―官軍先鋒隊
「赤報隊」と壬生浪士「新選組」
の栄光と挫折 入野 清
『遠き昭和』 中澤 祐一
歴史随想 ニールスの民
六千年の流れに惟う(7) 吉井 功兒
「政治と金」の原点を究明 中世の
策謀家日野(藤原)富子の存在を
問う 小林 司
四条縄手の合戦 楠木正行公陣所
一往生院 真野 尚子
目安箱(めやすばこ) 山崎 保雄
ぼっかんさんと了珍一貝塚御坊願
泉寺の古文書から 磯崎 素子
東日本大震災特集
東日本大震災被災者応援メッセ
ージ 山崎保雄／大西怜子／中澤祐一／
真野尚子／上田正和／岩谷隆行／
片倉穰／岡田嘉明／磯崎素子／小
池栄之輔／安居隆行／井川光正／
朝井真哉／白須一信／寺井正文
東日本大震災に想う 田村 紘一
大震災に耐えた「奇蹟の一本
松」 力強く復興せよと願う
「希望の一本松」 松坂 定徳
東日本大震災 古田 敬子
古代史仮定論―葛城氏の謎 岩谷 隆行
法親王について 丘 哲也
藩と大名 上田 正和
古代史政変の布石(1) 川村 一彦
槍ヶ岳登頂―55年前を回顧して
短歌17首 大西 怜子
初代池田町長 前田金吾の足跡
(続) 室田 卓雄
海軍飛行予科練習生に志願して 畠山 香織

くノ一忍法帖 伊賀の乱(1) 安田 建一
平成22年度の歩み 磯崎 素子
コラム 独り言つ「立った 打
った 走った!」「命の八〇〇
個」 井川 光正

◆地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要
〒660-0881兵庫県尼崎市昭和通2-7-16
総合文化センター 7 階 TEL06-6482-5246
1971年創刊
www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp
◇111 2011.9 A5 102p 850円
グラビア 昭和戦前期の阪神国道
・西難波
中世都市尼崎の空間構造 藤本 誉博
難波「八十嶋」と神崎川・猪名川
下流域 黒田 慶一
史煙 尼崎藩主・青山幸利遺徳顕
彰碑―銘文と建立者たち 中村 光夫
誌上レファレンス 地域研究史料館
学生によるウェブ版『図説尼崎の
歴史』の開発 垣東 弘一
人間魚雷・回天と阪本宣道君のこ
と(前)一回天のこと 寺内 邦夫

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇522 2011.9 B5 8p
9月行事案内 京都御所内の白雲
神社と伏見稲荷大社を訪ねる
講師・大森恵子先生
私のヒコー記 川口平三郎
回想記(4) 吉井 貞俊
近鉄特急 大阪―伊勢志摩(1) 吉井 貞俊

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中

印刷出版内 TEL078-871-0555 年3000円
◇287 (50-4) 2011.8 A5 57p 600円
《特集
東六甲山採石場と大阪城石垣の研究2》
『阪東直三郎日記』刊行にあたって
大安 榮晃
徳川大坂城における石切丁場の変
遷について 望月悠佑／高田祐一
徳川大坂城東六甲採石場越木岩刻
印群 池原 拓哉
猿丸邸に持ち込まれた奥山刻印群
の石材と搬出ルート 藤川 祐作
藤井重夫氏と築城石の研究―その
業績と残された一括資料の価値
森岡 秀人
神戸史学会創立50周年記念事業
『神戸・阪神間小字名集』の刊
行のその後について

◆あかい奈良 グループ丹
〒630-8144奈良市東九条町6-4
TEL0742-62-3408 年2500円 1998年創刊
www.akai-nara.net
◇53 2011.9 A4 46p 500円
現代工芸の「あか」
縄胎漆器「療」 山本哲作
特集 被災文化財を救う―東日本
大震災を乗り越えるために
歴史と出逢う場所
唐古・鍵考古学ミュージアム
心の風景 大台ヶ原に雪
井上博道／西村博美
あかい奈良インタビュー
エッセイスト 青木奈緒氏
あかい奈良が行く古社寺巡礼 古
社寺巡礼 大和郡山市 松尾寺
忘れたくない近世・近代奈良の人
詩人 野長瀬正夫

ものまんだら ダンゴー花見ダン
ゴと泥ダンゴ 鹿谷 勲
記紀の迷い道 蛇であって農耕の
神であるオオモノヌシ 三輪山
信仰は国づくりの原点だ
奈良で出逢った幸せの一皿 イタ
リアの哲学を閉じ込めた、珠玉
のアミューズ
季の瞬 爽籟 矢野建彦／矢野桃苑



＊東日本大震災から二十日後の3月31日、文化庁の肝いりで文化財レスキュー事業がスタートしたことは、弊誌103(2011.5)の後記でも触れたことであるが、本号は事業の概要と、奈良文化財研究所が行った古文書など紙史料の応急処置について特集する。奈良文化財研究所には、岩手県大船渡市、宮城県女川町、気仙沼市などから、昨年9月現在で段ボール800箱分の古文書や史料が運び込まれ、現在も増え続けている。同研究所では木製の文化財を保存処理するのと同様に、真空冷結乾燥機で乾燥処置を行っている。しかしこれはあくまでも応急処置で、海水に含まれる塩分、ヘドロや腐敗した海産物、カビなどを除去した上で修復するには膨大な手間がかかるという。しかも、真空冷結乾燥は一度に処理できる分量に限りがあり、処置を待つ間は冷凍保管が必要になる。これに社団法人日本冷蔵倉

庫協会のネットワークを通じて流通と保存の協力を申し出たのが奈良県中央卸売市場にある奈良市場冷凍株式会社で、6月はじめに気仙沼市から6トンもの紙資料を受け入れた。また、救出した文化財の一時保管には、高松塚古墳石室などを運んだこともある特注の美術品運搬車「飛鳥号」で、所有者の飛鳥建設から寄付された。このようにして善意のネットワークによって史料保存がされていることを、肝に銘じておかねばなるまい。

◆紀伊考古学研究 紀伊考古学研究会

〒642-0014和歌山県海南市小野田1221-1

前田敬彦方 1998年創刊

◇13 2010.8 B5 74p

和歌山県の手鎌木製台(木包丁)の

検討 仲原 知之

古墳出現期の太田・黒田遺跡一紀

伊における古墳出現期集落の一

様相 田中 元浩

岩橋千塚古墳群における板石閉塞

中村 貞史

和歌山市域の前I遺跡火葬墓と関

連遺跡の検討 大木 要

資料紹介

紀の川西ノ池で採集した資料の

紹介 北村 純治

高野山西室院 源氏三代の五輪

塔 西山 祐司

和歌山城天守閣展示瓦からみた

創建前後の和歌山城 奥村 薫

報告 鳴神Ⅱ遺跡出土木材の年輪

年代調査 光谷 拓実

和歌山県の考古学関係文献目録

(2009年) 事務局

活動記録 事務局

◇14 2011.8 B5 92p

『瀬戸タイプ』再論一紀南編 立岡 和人

生駒西麓産土器の搬入状況について
一紀ノ川流域を中心に

大木要／櫻田小百合

紀ノ川南岸平野部出土の埴輪一鳴

神V遺跡出土埴輪の再検討を中

心として 藤藪 勝則

資料紹介

岩橋千塚前山B地区で表採され

た胡鏡形埴輪 丹野 拓

白浜町オリフ古墳出土遺物の検

討 田中元浩／岩井顕彦

墨書のある瓦質泥塔について

中村貞史／北野隆亮

高野山奥の院御所芝所在五輪塔

について 西山 祐司

報告 日本旧石器時代遺跡データ

ベース(2010)について 中原 正光

和歌山県の考古学関係文献目録

(2010年) 事務局

活動記録 事務局

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312

江本英雄方 年3000円 1980年創刊

wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp

◇61 2011.9 A5 92p

畿内政権と紀伊国造

一紀直氏と紀朝臣氏 寺西 貞弘

研究ノート

粉河の豊臣蔵入地 寺沢 光世

紀伊国伊都郡赤塚村田中家文書

の分析(1) 伊都郡赤塚村の

地誌検地と役古高 廣本 満

和歌山城下に関する三つの絵図

の再検討 武内 善信

戦時下、農林学校の北海道援農

隊派遣—もう一つの学徒勤労

動員 田所 顕平

調査報告 旧那智山実報院家・宝
蔵院家の文書・位牌調査に関連

して 阪本 敏行

地方史のひろば

和歌の浦 芭蕉句碑の謎 三尾 功

動 向

台風12号に伴う被災資料の救出

・保全活動について

歴史資料保全ネット・わかやま

2011年度和歌山県内展覧会情報

彙報 和歌山地方史研究会の活動

研究余録 紀州ゆかりの人物年表

(2) 木食応其・覚栄 前田 正明

中国・四国

◆中村家の会会報

〒680-0015鳥取市上町41 中村忠文方

TEL0857-23-1264 年5000円 1979年創刊

www.nihonkai.net/nakamura/

◇33 2011.8 A4 14p

中村一栄(カズヒデ)公のお墓 中村 忠文

休玄寺で中村一栄(氏次)公

墓前供養 平成22年10月3日

休玄寺と、中村一栄公概説

八橋城について(知れるだけ)

中村家の古文書 熊本市文化財に

(中村勝家)／今年の「金春円満

井会」案内／世界遺産薬師寺

奉納 大歌舞伎／三宅由美子様

よりの便り／米子城跡の「史跡

公園」か 計画／平成22年度会

計報告

◆郷土石見 石見郷土研究懇話会

〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15

児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊

◇87 2011.8 A5 138p 1200円

特報 『官情』覚え書

一のち還りゆくところ 林 量三
 北海道にある石見焼について 阿部 志朗
 二十六代石見銀山代官天野助次郎
 とその碑について(上) 高橋 悟
 「竹島外一島」の解釈をめぐる問
 題について 竹内 猛
 直面(ひためん)で舞う 竹内 幸夫
 青春残照(14) 下垣 秀典
 峠・つれづれ 宮本 巖
 町から村から
 石見地区における体験 大橋 敏博
 「私を風化させない」 佐田 光子
 庭の石臼 大矢 幸子
 ほっくりの音 滝本 洋子
 資 料
 中世末石東の三系類史料を読む
 小林 俊二
 銀山山神宮の炎上と神職天野検
 校の殉難 山根 勝
 文芸 古戦場のケヤキ 中村 重満
 新刊図書紹介／平成22年度事業報
 告
 ◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会
 〒704-8113岡山県岡山市西大寺2-6-36
 村上岳方 TEL086-942-6156
 年1500円 1986年創刊
 homepage3nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
 ◇124 2011.9 B5 42p
 備中高松城攻め堤防伝説
 一文献・絵画資料から見た 別府 信吾
 幕末期における郷校の設立ー津山
 藩領内の医学研究場を事例とし
 て 下山佳那子
 例会報告
 広島近世史研究会・岡山地方史
 研究会 第5回合同研究会報告
 内池 英樹

岡山・広島合同研究会の五年の
 軌跡を振り返って 石田 雅春
 林原美術館を訪ねて 井本 真理
 ◆きび野 岡山県郷土文化財団
 〒700-0813岡山市石関町2-1
 TEL086-233-2505
 ◇123 2011.9 A5 14p
 表紙説明 渡辺文三郎『富士の絵
 の掛る室内』 妹尾 克己
 随 想
 反骨の系譜 綾目 広治
 岡山市立山下小学校難聴学級創
 立五十周年記念誌を編集して
 青山 静
 岡山の文学碑 赤木格堂句碑 万城 あき
 岡山の自然
 寄島町のアッケシソウ 作田 雅利
 岡山の文化財 赤磐市吉井郷土資
 料館(旧仁堀尋常高等小学校本
 館) 高畑 富子
 わが町・わが村の自慢 西江邸ベ
 ンガラ染体験工房「かたくり」
 (高梁市成羽町)
 ふるさとの思い出
 石井十次記念館(岡山市)
 ◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
 〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
 TEL084-953-6157 www3.plala.or.jp/big-eye/
 ◇161 2011.8 A4 18p
 久代宮氏の所領 田口 義之
 石井氏と鞆石井町の語源について
 矢田 貞美
 ホムチワケの謂 根岸 尚克
 懐かし写真館
 研究レポート 備後南部の金融機
 関の設立と変遷について(松永

編) 岡田宏一郎
 ワンショット・例会レポートー西
 播磨北部の史跡を歩く
 例会報告
 「西播磨バス例会」感想文 高木 康彦
 洛南の鳥羽伏見紀行(2) 坂井 邦典
 写真で視る郷土探訪(新市町) 田口 由実
 部会報告 部会への参加は楽し
 く、知的満足感がある！(2)ー
 古墳・城郭・歴史民俗研究部会
 の三部会に参加して 岡田宏一郎
 紀行文 西高瀬川を歩く 足立捷一郎
 読者投稿
 NPO大友顕彰会に出席して 後藤 匡史
 福島震災地の城跡は？ 末森 清司
 ◆広島土史研究会会報
 〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
 呉市広公民館内 TEL0823-71-0706
 1998年創刊
 ◇105 2011.9 A4 28p
 教育第一を掲げた藤田譲夫広村長
 と明治期からの教育 上河内良平
 明治期に於ける広村の初等教育へ
 の取り組み 主に広小学校につ
 いて 吉田 顕治
 藤田家文書 第Q章 藤田家財産
 目録・起業資料集と関連文書
 Q-1広島水力発電所基本資料
 (11) 広島土史研究会古文書部会
 第100回記念ウォーキング大会／
 古文書部会の報告／平成23年度
 総会報告／事務局報告／県史協
 福山地方大会開催のお知らせ／
 懐かしい広町・広商店街の写真
 集を発刊する／例会の主な感想
 ／例会報告

◆広島民俗 広島民俗学会
 〒739-1521広島市安佐北区白木町三田2810
 栗原秀雄方 TEL082-829-0341 1974年創刊
 ◇76 2011.8 A5 36p 500円
 田中重雄先生を偲びて 三村 泰臣
 「津野山古式神楽」拝見記ー高知
 県高岡郡津野に伝わる神楽 下畠 信二
 郷土学と地域学ー写真が語るさと
 やまシンポジウムから 正本真理子
 平成22年度現地研究会
 「湯ノ山明神旧湯治場」を見学 栗原 秀雄
 「湯之山旧湯治場」の思い出 藤井 昭
 「湯ノ山明神旧湯治場」体感記 岡崎 環
 湯ノ山明神旧湯治場を訪ねて 川本 正晴
 参加者寄稿 岩国藩『岩邑年代記』
 の記録にも 尼崎 栄吉
 ◆みよし地方史 三次地方史研究会
 〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
 2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
 1987年創刊
 ◇85 2011.8 B5 12p
 継続することの意義
 一会長就任にあたって 新祖隆太郎
 会長辞任にあたって 米丸 嘉一
 備後・備中の幕府領地鎮撫
 一松尾(林)魯平関係文書から 立畑 春夫
 安田氏考
 一中世和智氏庶子家の消長 新祖隆太郎
 明治20年ころの備北農村
 藤村俊太郎遺文(2)
 ◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
 〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
 TEL0848-62-2935
 ◇246 2011.9 B5 12p
 今月の各地 天満山の鉱山 寺迫 保夫
 浄瑠璃本『みはら物語』漢字転換

文(完結編) 福岡 幸司
朝鮮出兵と小早川隆景(完結編) 大本 静人
三原英学史考(7) 田邊 達雄

◆文書館ニュース 山口県文書館
〒753-0083山口市後河原150-1 TEL083-924-2116 1965年創刊 ymonjo.ysn21.jp

◇45 2011.3 A4 8p
「友愛・奉仕・躍進」のスローガンの下で一昭和38年山口国体の記録
公文書を守ろう！活かそう！ 公文書を「守る」／公文書を「活かす」／公文書で生きた歴史を学ぶ！—西京高校郷土史研究部の活動
トピックス2010／平成22年度の新収諸家文書を紹介します!!
国指定重要文化財 高洲家文書 足利尊氏官途挙状、高洲行勝讓状、渋川義陸書状、山名祐豊書状、毛利輝元覚書、大内義隆書状 日明貿易船旗 1旒 国指定重要文化財 164 cm×94 cm 個人蔵・当館寄託

◆徳島県立博物館ニュース
〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636 1990年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇84 2011.9 A4 8p
震災後の世相を風刺した戯画 鯨絵 あら嬉し大安日にゆり直す(加藤茂弘氏蔵) 中尾 賢一
Culture Club 大塩平八郎と徳島一大塩のルーツは阿波国!? 松永 友和
企画展 描かれた地震

情報ボックス
イモの収穫日としての社日 庄武 憲子
歴史散歩 穴吹駅から三島の古墳 高島 芳弘

Q & A ピカピカに光る銅鐸や青銅鏡が展示されていますが、あれはホンモノですか? 魚島 純一

◆自由のともしび 自由民権記念館だより
高知市立自由民権記念館
〒780-8010高知市棧橋通4-14-3
TEL088-831-3336 1990年創刊
www.minken.city.kochi.kochi.jp
◇70 2011.3 A4 8p
近代土佐の漢学者・自由民権運動家 山本梅崖と日中交流の軌跡 平成23年3.1(火)～5.15(日)
リレーエッセイ
歴史の空白埋める史料群 公文 豪
植木枝盛旧邸の書斎部分を移設展示／自由民権記念館友の会「無天忌」を実施／植木枝盛旧邸調査報告と現地見学会を4月に予定!

植木枝盛旧邸とその書斎 公文 豪
植木枝盛起草「東洋大日本国々憲案」の意義 松岡 僖一
資料紹介 植木枝盛旧邸書斎のふすま下張り文書
第11回社会科自由研究作品展報告
第11回社会科自由研究作品展によせて 大石 格
歴史学習で訪館する 児童・生徒を案内して／自由帳から／第11回社会科自由研究作品展 自由民権記念館特別賞
近代土佐の漢学者・自由民権運動家 山本梅崖と日中交流の軌跡

ご案内／収蔵品展合同企画 高知近代史研究会のご案内／常設展示Q & A (11)

◆秦史談 秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283 松本紀郎
方 TEL088-875-6671 1984年創刊
◇165 2011.9 B5 66p

表紙説明
新秋薄暮紅水川(南久万) 松下 政司
グラヴィア 永井隆の祈り、紙芝居・幸徳秋水、土佐民話展、澤田正太郎画
例会発表から
加賀野井家について 常石 芳英
追慕の譜(1) 山田一郎さん 山本華与子
江ノ口川の形成について 広谷喜十郎
虫の声(俳句) 西方 郁子
富永新助康晴のこと(1) 松本 紀郎
「ローカルジャーナル 秦史談」(『高知新聞』より)
岡田以蔵(4) 断罪 岩崎 義郎
永井隆の祈り(2)
一この子を残して 毛利 俊男
ともこの昭和時代(4) ヨイトマケの唄(『土佐の民話』市原麟一郎編 から) 藤本 知子
天災は忘れないうちにやってくる

広谷 雅子
民権ばあさん物語「馬とはきんさん」(25) 三大建白運動と保安条例(「こうち童話」から) 久米生太子／藤本知子
秦の昔話 その27 三谷の巻 寺
あとの怪しい火(「こうち童話」から) 永野美智子
松山方面の史跡めぐり 広谷喜十郎
チエリ抄(補遺) “えにし結びし

方々へ” 永国淳哉／藤本知子
思い出の高知市(2)
高知城公園の石段 松本 紀郎
紙芝居・幸徳秋水
全20枚・一部抜粋
岡村庄造氏拓本集から(26) 岡村 庄造
戦国期の秦氏と秦泉寺氏について 朝倉 慶景

◆民権の炎 自由民権記念館友の会だより
高知市立自由民権記念館
〒780-8010高知市棧橋通4-14-3
TEL088-831-3336
www.minken.city.kochi.kochi.jp
◇42 2011.7 B5 8p
ある教師像 公文 豪
2011(平成23)年度 自由民権記念館友の会総会の報告
記念講演要旨 高知市市民図書館長・筒井秀一氏の講演を聴いて—図書館のあり方を主体的に考えよう 窪田 充治
炎句会一人一句抄
史跡を訪ねて 小川一眞・婉の墓(東京・青山霊園) 公文 豪
中村・宿毛の民権史跡を訪ねて

九州・沖縄

◆九州史学 九州史学研究会
〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学文学部日本史学研究室内
TEL092-642-2375 1956年創刊
www.lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/
◇159 2011.9 B5 88p
《特集 大名華族と旧藩意識》
巻頭言 特集にあたって—「大名華族と旧藩意識」が切り拓くかもしれないもの 山口 輝臣

2009年度九州史学研究会大会公開
講演 福沢諭吉の地域開発論と
華族一中津・延岡・福岡を例に 小川原正道
大正・昭和期における有馬頼寧と
「旧藩地」人脈の形成 野島 義敬
新たな大名華族像を求めて 内山 一幸
寄稿 大名華族と旧臣会をめぐる
若干の考察 内藤 一成
コメント
「大名華族と旧藩意識」参加記 落合 弘樹
“大名”と“大名華族”のあい
だー「大名華族と旧藩意識」
によせて 中野 等
大名華族研究についての一所感
吉田 昌彦

◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
◇187 2011.9 B5 20p
佐賀県重要文化財
木造如意輪観音立像 志佐 惲彦
島田塚が語る東アジアの中での
「倭国から日本へ」(2)ー中国と
の没交流百年の後に 堀川 義英
大河野・鶴田氏の合体の経緯と変
遷 塚本 三郎
考古学における唐津地方研究の成
果(20) 時代の証 一、ヒスイ
の玉Ⅱ 田島 龍太
唐津の地域民が守ってきた文化財
(4)ー東松浦郡の旧町村・相知
編(1) 中里 紀元
九大檜垣文庫の唐松史料 寺沢 光世
ご存知ですか
名護屋「のえ節」 熊本 典宏
秀島鼓溪について(2) 嶺川 隆敏
古文書史料 忠鼎公御側筆笥入

寛政六甲寅年 郷方申付等一件
(2) 濱口 尚美
末盧館企画展「玉に魅せられた国
ーまつろの国のアクセサリー」

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県宮古島市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
◇186 2011.9 B5 6p
9月定例会レジュメ 考古学的視
点からみた12～16世紀の宮古ー
宮古諸島の編年試案 久貝 弥嗣
10月定例会レジュメ
伝説の大津波の時代について 下地 和宏
砂川のナーパイ祭祀と大津波
ー7月定例会の報告 下地 和宏
8月定例会のまとめ
宮古島地名雑考 下地 利幸
奄美沖縄民間文芸学会
2011年度大会宮古島で開催 下地 利幸
第6回宮古島市民総合文化祭・一
般の部 郷土史部門／伊良部島
史跡めぐり 事務局
第1回「郷土史講座」を開催
宮古島市立図書館北分館
下地島の軍事利用を許さない
「米軍再編」反対と連帯して学習
仲宗根將二
国立療養所宮古南静園『学び舎の
碑』建立 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆自在院史料集1
自在院年譜 版木・文書所蔵目録
阿住義彦編 真言宗豊山派自在院 (〒965-
0031 福島県会津若松市相生町2-18) 2011年
7月 A4 107頁

自在院所蔵の日牌過去帳(安永8年(1779)起筆
版)に記載されている物故者から僧職者、寺
族、作善の武士・町人等を抽出して自在院の
事項とともにまとめた年譜と、自在院所蔵の
絵像・護符・経典等の版本111点の解説、さ
らに自在院経堂内の6箱の唐櫃に収録されて
いた江戸期以前の写本・版本、書棚に積載さ
れていた経典類および近代の寺院経営・諸学
に関する書籍等763点の目録を収録する。

◆中・近世の祈りのかたち
ー福聚山自在院仏像調査報告書
若林繁著 阿住義彦編集 会津古文化保存研
究会 (〒965-0031 福島県会津若松市相生町
2-18 自在院内) 2010年6月 A4 119頁
応永30年(1423)法印長巖により創建され、文
禄元年(1592)第10世行翁のとき現在の地に移
ったとされる福聚山満蔵寺伝来の仏像調査報
告書。鎌倉時代末から江戸時代にいたる25件
38軀の仏像と2面の懸仏について、カラー写真
とともに紹介する。

◆吉川市史 資料編 近代
吉川市史編さん委員会編 吉川市 (〒342-
0055 埼玉県吉川市吉川1-21-13 吉川市教
育委員会生涯学習課市史編さん係 TEL048-
984-3563) 2011年3月 B5 584+25頁
1997年から編さん事業が開始された『吉川市
史』(全7巻)の「民俗編」(2010年8月)に続く
第3回配本。第1回「資料編 原始・古代・中
世」(2009年3月)に続き、明治元年(1868)か
ら昭和20年(1945)までの資料を収録する。
〔河岸町場の発展と農村社会(近代)〕 明治維
新と新しい村づくり(維新期の地方制度と諸
改革、稲作を中心とした村の産業、渡船場と
徳江橋の架橋、灌漑用水路と水害、近代教育
の発足)／旭・吉川・三輪野江村の成立と発展
(概説、三か村の誕生と名望家自治、日清・日
露戦争下の村政、産業の振興と河岸の発展、
道路・橋梁の整備、頻発する水害と江戸川・中

川の治水対策、公教育体制の確立と吉川の教
育)／中川水系の成立と町村制の生活(概説、
吉川町の誕生と普通選挙の実施、地場産業の
発展、デモクラシー状況下の地域社会、陸上
交通の発展と江戸川筋御旗場、河川の改修と
中川水系の成立、吉川農業学校と吉川実修女
学校、勤労青年教育の展開と社会教育の振
興)／戦時体制の強化と吉川(概説、昭和恐
慌期の諸施策、戦時期の町村制と翼賛運動の
推進、恐慌と統制下の産業、主幹排水路の整
備と水旱害、戦時体制下の教育、戦争の激化
と生活の統制)／年表(資料編近代)／索引

◆伊勢・西国巡礼旅日記 古文書から見えた
野田船形村農民の江戸時代の旅ー初・中級
古文書解説
伊勢西国巡礼旅日記編集委員会編 野田地方
史懇話会 (〒270-0234 千葉県野田市日の出
町8-4 南川好玄方 TEL04-7129-5429) 2011年
8月 B5 155頁 1000円
平成2年4月に設立された野田地方史懇話会の
20周年記念事業として、旧船形村(野田市船
形)の旧家栗原家に残された『伊勢太々西国
順礼・諸国参詣日記』(文久2年12月17日出立、
26人)を、一日づつの旅程図とともに解説・
刊行する。刊行にあたって(下津谷達男)／ま
えがき(木原徹也)／総論 絵馬と石塔にみる
野田地方の伊勢信仰ー栗原喜三郎・諸国参詣
日記を中心に(石田年子)／総論 『伊勢西国
順礼旅日記』の解説(木原徹也)／旅日記(凡
例、参考、船形村出立、江戸出立、石打村出
立、伊勢到着、伊勢出立、熊野本宮町出立、
大坂滞在、奈良町出立、京都滞在、兵庫町着、
高砂町より四国へ出船、室津に四国より到着、
宮津町着、今津町着、野尻宿出立、倉賀野宿
を舟で出立、栗橋宿着)／資料 全旅程図と
全日程表、参考文献

◆港上山西念寺いまむかし物語
小さな港町・真鶴の人びとのくらし

小俣弘昭・小泉欽司著 書誌環 (〒259-0201 神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴583 TEL0465-68-0392) 2010年11月 B6 157頁 非売品 浄土宗開祖・法然上人の没後800年の大遠忌にあたる2011年にあわせて、天正元年(1573)創建とされる港上山西念寺の歩みと真鶴町の歴史を紹介する。西念寺のある真鶴はどこなところか／鎌倉幕府の創設と新仏教の興隆／法然の浄土宗開宗／西念寺創建のころ／天下統一／キリシタン禁制、寺による信仰の管理／江戸城の築城で石材ブーム／寺と庶民教育、海辺のくらしと信仰／江戸から明治へ／近代日本の光と影／大正時代の明と暗／新しい時代へ／参考文献／港上山西念寺歴代住職

◆富山県の基本図書

ふるさと調べの道しるべ
太田久夫著 桂書房 (〒930-0103 富山県富山市北代3683-11 TEL076-434-4600) 2011年7月 A5 252頁 1800円
富山県教育会の機関誌『富山教育』(明治21年創刊)昭和63年2月号(第771号)から富山県の郷土資料を紹介している巻頭連載「口絵と解説」120回分を収録する。発刊に寄せて(金岡純二)／はじめに／富山県郷土資料総合目録／富山県大百科事典／富山大百科事典／富山県民とともに／立山信仰と立山曼荼羅／富山の絵馬／加越能寺社由来／富山県神社誌／目でみる越中真宗史／加賀藩史料／越中史料／富山県史／加越能近世史研究必携／参勤交代道中記／置県百年 富山県／相益社の人びと／郷土に輝く人びと／富山県姓氏家系大辞典／越の下草／越中志徴／富山県の文化財／越中の美と心／北陸地名伝承の研究／角川日本地名大辞典 富山県／富山県の地名／富山県政史／富山県議会史／富山県警察史／富山県消防沿革史／富山県戦災復興誌／富山県満蒙開拓団史／第三アリアンサ創設五十年史／富山県南米移住史／創業百年史／富山がわかる

本／富山県女性史・とやまの女性史／支部百年史／富山県終戦処理史／念力徹岩／富山県教育会五十年史／教育大会記録／富山県教育史／戦災を逃れて富山にきた子どもたち／富山県中学校教育五十年の歩み／日本の民俗 富山／富山県の民俗／富山民俗の位相／とやま民俗文化誌／越中五箇三村の民俗／富山県の祭り・行事／富山県の獅子舞／こども遊びの四季／富山県につたわるこどもの遊び／富山県の民家／利賀のはつづま／富山県の民謡／越中わらべうた考／富山聯隊史／蘭学、その江戸と北陸／算学鉤致 付算学訓蒙／地図の記憶／富山の自然と文化／とやま自然の仲間たち／富山湾／水文化創造の時代／越中安政大地震見聞録／富山県植物誌／ホテルイカの素顔／富山県の昆虫／現職日本海魚類図鑑／立山の雷鳥／北アルプスカモシカ保護地域特別調査報告書／県警の歩み／優しさはふれあいから／富山県産業史／富山の葉売り／富山県薬剤師会百年史／けんせつほくりく／とやま土木物語／秘境五箇山に新しい道を／常願寺川治水史／ごみに挑む／日本城郭大系 新潟・富山・石川／富山県の近代化遺産／住まいと街なみ百年のあゆみ／商都高岡の五つの町並み／重要文化財瑞龍寺山門他七棟保存修理工事報告書／北陸地方電気事業百年史／高岡アルミニウム懇話会創立30周年記念誌／塩硝(硝石)と黒色火薬全国資料文庫収蔵総合目録／富山県プラスチック工業会創立20周年記念誌／北陸産紙考／享保・元文諸国産物帳集成 I巻・江戸後期諸国産物帳集成 VI巻／中山間地域の特産物栽培の手引き／高岡産業博覧会誌・富山産業大博覧会誌／富山県農業試験研究百年のあゆみ／富山県農業の展開と経済成長／富山県米穀史考／富山県における地主層と他産業との関連／アイガモ農法／加賀藩の十村制度・越中の十村／私家農業談・農業談拾遺雑録／富山県植物防疫史・富

山県植物防疫五十周年を迎えて／チューリップが好きになる本／富山県北洋漁業のあゆみ／越中ブリ／富山県歴史の道調査報告書／富山の美術と文化／富山県の石碑／富山県漆工総覧／高岡銅器史／富山県校歌全集・同余滴／富山県スポーツ百年史／富山県高校野球物語・富山県高校野球史／越中五箇山ことば歳時記／富山の文学碑／富山県の今上陛下御製碑／富山県文学事典／富山県文芸展／葦附誌／越中俳諧史／あとかき／書誌一覧

◆吉見幸和翁の年譜と著述

吉見幸和大人命二百五十祭記念
太田正弘編 (〒489-0036 愛知県瀬戸市西古瀬戸町8 TEL0561-21-2717) 吉見英和(名古屋市東区徳川2-13-26) 2011年4月 A5 58頁 1500円
江戸中期の神道家で国学者でもあった名古屋東照宮三代神主 恭軒吉見幸和の250年忌の祭典執行にあたり、年譜・著述目録等をまとめる。とくに幸和と嗣子幸混の署名、花押、印、蔵書印の影印を初めて収録し、181部の著述目録については旧蔵者を含めて所蔵先を記す。はじめに(吉見家初代直勝について、吉見家資料(文庫)の流転について)／吉見幸和翁年譜(凡例・印章・花押・恭軒号頌、年譜、附 吉見家略系図)／吉見幸和翁著述目録(凡例・蔵書印、目録、附 活字本一覧)

◆近現代の八木の記憶

八木町史編さん事業歴史資料調査報告書4
八木町史編さん事業事務局編 南丹市教育委員会 (〒622-0000 京都府南丹市小桜町47 TEL0771-68-0055) 2011年3月 A4 213頁
八木町史編さん事業歴史資料調査の一環として平成22年度に実施した聞き取り調査の報告書である。調査の概要(神村和輝)／口述史料編 町長経験者(福島幸宏)、学校・教育(櫻澤誠)、戦争体験(白川哲夫)／民俗編 マチ(商店街)(柿本雅美)、ムラ(氷所地区)(柿本雅

美・神村和輝)／調査員・協力者一覧
◆写真で見る大阪空襲
大阪空襲写真集編集委員会編 ピースおおさか (〒540-0002 大阪市中央区大阪城2-1 TEL06-6947-7208) 2011年3月 A4 80頁 1000円
ピースおおさか設立20周年を記念して、大阪市や堺市を中心とする米軍による空襲とその被害を撮影した写真98点を、状況の解説とともに集録。広域／道頓堀川／難波・道頓堀／心斎橋筋・島之内／船場／西区界限／北区界限／生玉・四天王寺方面／大阪市北部／大阪南部／大阪市西部／大阪市東部／豊中市／堺市／コラム 大量で無造作な死(久保三也子)、一面の焼け野原(山野良子)、「漫画の神様」と空襲―『アドルフに告ぐ』、家並みは跡形もなく(中山純雄)、矢追写真館の空襲写真(水知悠之介)、母と弟を失う(伊賀孝子)、床下の防空壕は(徳田勉美)、急ごしらえの火葬場(松下明子)、大阪砲兵工廠で(高原秀夫)、焼死体が山のように(網信二)、焼夷弾、アメリカ軍の爆撃機・戦闘機、日本の防空戦闘機／解説 歴史としての大阪空襲、空襲写真の見方、大阪空襲の写真について／資料 空襲被災地図(大阪市、豊中市、堺市)、大阪空襲と被害状況一覧表、掲載写真一覧、参考文献一覧
◆講座『播磨風土記』

神崎勝著 NPO法人妙見山麓遺跡調査会 (〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区的場294 TEL0795-35-1173) B5
2006年8月の第1回から偶数月に開催されている「播磨風土記」講座の記録集。
第29回 「揖保郡」を読む(1) 本文と語釈・注釈(枚方里まで)(2011年4月、29頁)
第30回 「揖保郡」を読む(2) 本文と語釈・注釈(大家里～桑原里)／付論 風土記の「国司」関係記事、『播磨風土記』の「宮」「井」「酒」「殿」について(集成)、古風土記の「泊(停)」

と「津」「浦」について、伊都(石海里条)と御津(浦上里条)は同地か、『和名類聚抄』郷名との比較(2011年6月、30頁)

第31回 「采禾郡」を読む 本文と語釈・注釈(2011年8月、18頁)

◆木食応其上人と橋本

没後400年記念顕彰事業のまとめ
橋本市まちの歴史資料保存会編 橋本市応其上人顕彰事業実行委員会(〒648-0064 和歌山県橋本市橋本1-5-15) 2011年3月 A4 185頁

平成20年度に行われた応其上人没後400年顕彰事業の報告書である。木食応其上人顕彰事業のまとめ発刊にあたって(村木宏)／刊行に寄せて(木下善之)／応其上人の概要(応其上人の概要「橋本の町と応其」「応其略年表」、没後400年顕彰事業等一覧、顕彰事業関係団体)／応其を学ぶ(記念講演会「秀吉と応其上人」、シンポジウム「応其の実績と顕彰シンポジウム」)／応其を感じる(応其上人終焉の地 交流バスツアー(飯道山)、応其上人足跡を辿る 探訪バスツアー(紀の川市)、応其

上人ふれあいウォーキング ふるさと再発見)／応其を見る(橋本まちかど博物館 応其上人展、橋本市郷土資料館 企画展「応其上人築造の溜池写真展」、応其上人まちなかフォトギャラリー)／応其逍遥(飯道山交流事業、県立博物館特別展「木食応其」、引の池法要「上人祭」、「知っとこ伊都」応其上人講演会とツアー、やすきひろこ主催劇団・五穀邦楽「木食応其物語」)／まとめ(事業報告、応其を巡る研究その後、応其上人顕彰の歴史)／資料(マンガで見る応其上人と若干の応其関係資料、シンポジウム資料、応其上人終焉の地 交流バスツアー、応其上人ふれあいウォーキング ふるさと再発見、応其上人まちなかフォトギャラリー展示写真、県立博物館「木食応其展示」見学資料、やすきひろこ主催劇団の公演を報じた『区画整理だより』、木食応其上人関係文献目録、応其上人関係リーフレット、応其顕彰事業を報じた新聞記事、没後400年顕彰事業に使用した「ロゴマーク」の解説、「応其上人顕彰事業実行委員会」会則と委員名簿)

◆後記

書誌調査の大先輩である仙台市在住の大森一彦さんは、寺田寅彦文献の第一人者として夙に知られる。105号の本欄で、昨年7月に石巻市や宮城県図書館、福島県立図書館を訪ねたことを書いたが、その折に大森さんにもお目にかかり、寺田の地震や津波に対する見解についてご教示をいただいた。震災後刊行相次ぐ寺田の著作の中から、講談社学術文庫『天災と国防』(2011.6)を薦められ、特に、工学者で失敗学の創設者である畑村洋太郎氏による長文の解説が秀逸であると云われた。畑村氏はその後、政府の東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会委員長に就いている。大森さんの推奨されるとおり畑村氏の文章は、文庫本解説の域を超えた見事な寺田論であり、科学論である。ここで全容を紹介する余裕はないが、869年の貞観地震に触れながら、「この規模の災害(東日本大震災：筆者注)は地震の専門家なら当然考えておかねばならない。千二百年のスパンで考えれば、決して『未曾有』ではなかった」、三陸地方に限れば百年あまりで3回も大きな津波に襲われ、1896年には2万人以上の死者を出しており、「こうして見ると、寺田のいうように、『もう津波は天災でも地異でもなくなる』」と述べていることだけを記しておきたい。

前号本欄で、宮崎県椎葉村を宮城県椎葉村と誤記しました。訂正いたします (飯澤)

地方史情報 107 2012年(平成24年)2月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757